

第5章 大阪市の人権問題への取組みについて

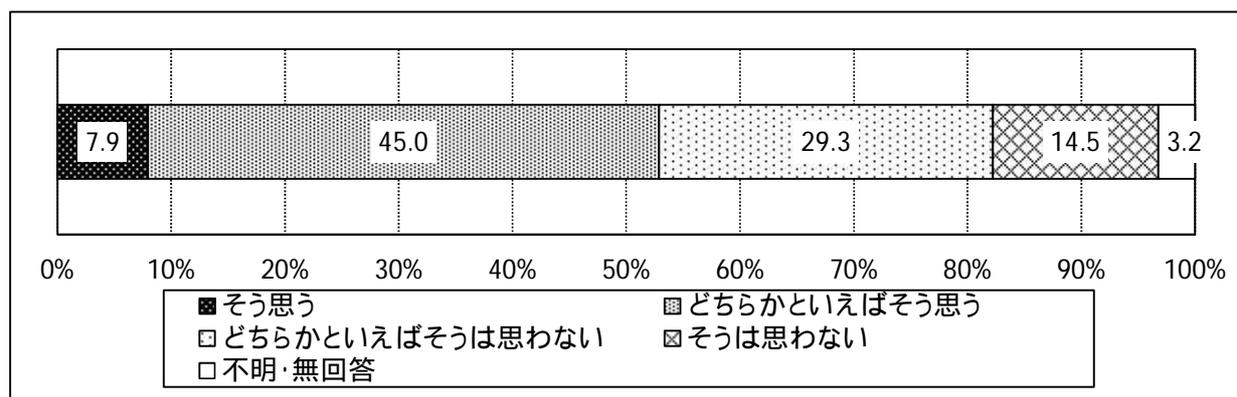
5 - 1 .「大阪市は人権が尊重されているまちである」との認識

問13 大阪市では、「大阪市人権尊重の社会づくり条例」にもとづき、多様な取組みを進めています。あなたは、「今の大阪市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。(は1つ)

【表5 - 1 - 1 「大阪市は人権が尊重されているまちである」との認識】

	(上段:人、下段:%)					合計
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	不明・無回答	
市全体	59	334	218	108	24	743
	7.9	45.0	29.3	14.5	3.2	100.0

【図5 - 1 「大阪市は人権が尊重されているまちである」との認識】



今の大阪市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちであると思うか尋ねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 52.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の合計の割合は 43.9%となっている。

性別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、男性 57.5%、女性 51.1%となっている。

年齢別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、10歳代が 69.2%と最も高く、次いで 70歳以上が 65.1%、50歳代が 54.0%となっている。【表5 - 1 - 2】

【表5-1-2 性別・年齢別 「大阪市は人権が尊重されているまちである」との認識】

		(上段:人、下段:%)					
		そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	う ど ち ら か と い え ば そ	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		59 7.9	334 45.0	218 29.3	108 14.5	24 3.2	743 100.0
性別	男性	34 11.4	138 46.2	70 23.4	52 17.4	5 1.7	299 100.0
	女性	24 5.7	190 45.3	139 33.2	51 12.2	15 3.6	419 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	4 100.0
	不明・無回答	1 4.8	6 28.6	7 33.3	4 19.0	3 14.3	21 100.0
		3 23.1	6 46.2	2 15.4	1 7.7	1 7.7	13 100.0
年齢別	10歳代	4 6.8	16 27.1	25 42.4	12 20.3	2 3.4	59 100.0
	20歳代	6 6.0	42 42.0	29 29.0	21 21.0	2 2.0	100 100.0
	30歳代	12 10.1	46 38.7	44 37.0	17 14.3	0 0.0	119 100.0
	40歳代	7 5.6	60 48.4	35 28.2	19 15.3	3 2.4	124 100.0
	50歳代	4 2.9	69 50.4	38 27.7	20 14.6	6 4.4	137 100.0
	60歳代	21 12.4	89 52.7	38 22.5	14 8.3	7 4.1	169 100.0
	70歳以上	2 9.1	6 27.3	7 31.8	4 18.2	3 13.6	22 100.0
	不明・無回答						

職業別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、「公務員、教員」が70.8%で最も高く、次いで「家事専業、学生、無職」が57.0%となっている。

【表5-1-3】

【表5-1-3 職業別 「大阪市は人権が尊重されているまちである」との認識】

		(上段:人、下段:%)					
		そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	う ど ち ら か と い え ば そ	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		59 7.9	334 45.0	218 29.3	108 14.5	24 3.2	743 100.0
自営業		6 7.4	36 44.4	24 29.6	12 14.8	3 3.7	81 100.0
民間正規雇用		19 9.8	79 40.9	50 25.9	41 21.2	4 2.1	193 100.0
公務員、教員		3 12.5	14 58.3	4 16.7	3 12.5	0 0.0	24 100.0
非正規雇用		3 2.4	56 44.1	50 39.4	17 13.4	1 0.8	127 100.0
家事専業、学生、無職		28 9.2	146 47.9	85 27.9	35 11.5	11 3.6	305 100.0
不明・無回答		0 0.0	3 23.1	5 38.5	0 0.0	5 38.5	13 100.0

学歴別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、「中学卒」が56.0%で最も高く、次いで「大学卒」が54.0%となっている。【表5 - 1 - 4】

【表5 - 1 - 4 学歴別 「大阪市は人権が尊重されているまちである」との認識】

		(上段:人、下段:%)					
		そう 思う	う ど ち ら か と い え ば そ	う ど ち ら か と い え ば そ	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		59	334	218	108	24	743
		7.9	45.0	29.3	14.5	3.2	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	15	41	24	15	5	100
		15.0	41.0	24.0	15.0	5.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	16	126	72	41	9	264
		6.1	47.7	27.3	15.5	3.4	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	7	73	55	19	0	154
		4.5	47.4	35.7	12.3	0.0	100.0
	4.大学、大学院	19	89	60	28	4	200
		9.5	44.5	30.0	14.0	2.0	100.0
5.その他	2	1	1	4	1	9	
	22.2	11.1	11.1	44.4	11.1	100.0	
不明・無回答		0	4	6	1	5	16
		0.0	25.0	37.5	6.3	31.3	100.0

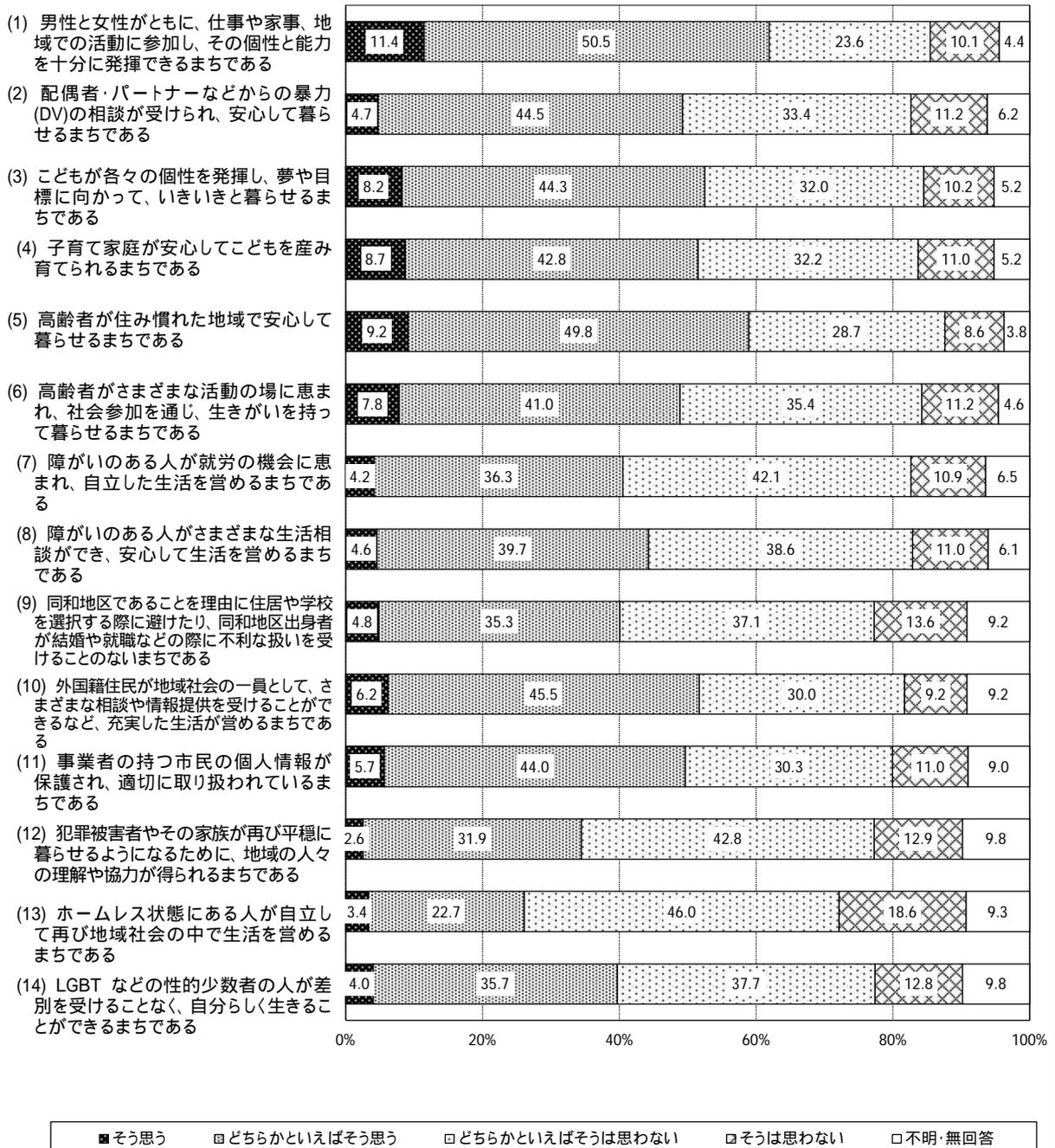
5 - 2 . 個別の人権問題に関わって「人権が尊重されるまち」であるとの認識

問14 あなたは、次の(1)～(14)のそれぞれの人権課題に関する項目について、大阪市は「人権が尊重されるまち」であると思いますか。すべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに)

【表5 - 2 - 1 個別の人権問題に関わって「人権が尊重されるまち」であるとの認識】

	(上段:人、下段:%)					合計
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	不明・無回答	
(1) 男性と女性とともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである	85 11.4	375 50.5	175 23.6	75 10.1	33 4.4	743 100.0
(2) 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである	35 4.7	331 44.5	248 33.4	83 11.2	46 6.2	743 100.0
(3) こどもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである	61 8.2	329 44.3	238 32.0	76 10.2	39 5.2	743 100.0
(4) 子育て家庭が安心してこどもを産み育てられるまちである	65 8.7	318 42.8	239 32.2	82 11.0	39 5.2	743 100.0
(5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである	68 9.2	370 49.8	213 28.7	64 8.6	28 3.8	743 100.0
(6) 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである	58 7.8	305 41.0	263 35.4	83 11.2	34 4.6	743 100.0
(7) 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである	31 4.2	270 36.3	313 42.1	81 10.9	48 6.5	743 100.0
(8) 障がいのある人がさまざまな生活相談ができ、安心して生活を営めるまちである	34 4.6	295 39.7	287 38.6	82 11.0	45 6.1	743 100.0
(9) 同和地区であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである	36 4.8	262 35.3	276 37.1	101 13.6	68 9.2	743 100.0
(10) 外国籍住民が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである	46 6.2	338 45.5	223 30.0	68 9.2	68 9.2	743 100.0
(11) 事業者の持つ市民の個人情報が保護され、適切に取り扱われているまちである	42 5.7	327 44.0	225 30.3	82 11.0	67 9.0	743 100.0
(12) 犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである	19 2.6	237 31.9	318 42.8	96 12.9	73 9.8	743 100.0
(13) ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである	25 3.4	169 22.7	342 46.0	138 18.6	69 9.3	743 100.0
(14) LGBTなどの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである	30 4.0	265 35.7	280 37.7	95 12.8	73 9.8	743 100.0

【図5-2 個別の人権問題に関わって「人権が尊重されるまち」であるとの認識】



個別の人権問題に関わって「人権が尊重されるまち」であると思うか尋ねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』が61.9%と最も高く、次いで『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』が59.0%、『(3)こどもが各々の個性を發揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである』が52.5%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、『(13)ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである』で26.1%、次いで『(12)犯罪被害者やその家族が再び平穩に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである』が34.5%、『(14) L G B Tなどの性的少数者の人が差別を受けることなく、

自分らしく生きることができるまちである』が 39.7%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、男性では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』が 64.5%と最も高く、次いで『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』が 59.2%、『(3)子どもが各々の個性を發揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである』が 50.8%となっている。

女性では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』が 61.6%と最も高く、次いで『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』が 59.7%、『(3)子どもが各々の個性を發揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである』が 54.7%となっている

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、男性では『(13)ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである』で 26.4%、次いで『(12)犯罪被害者やその家族が再び平穩に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである』が 35.5%、『(14) L G B T などの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである』が 37.1%となっている。

女性では『(13)ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである』が 26.3%と最も低く、次いで『(12)犯罪被害者やその家族が再び平穩に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである』が 34.4%、『(9)同和地区であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである』が 40.6%となっている。

年齢別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10 歳代、20 歳代、30 歳代、50 歳代、60 歳代では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』であり、数値は各々 92.3%、64.4%、68.0%、62.9%、56.2%となっており、40 歳代では『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』で 67.2%、70 歳以上では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』と『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』で、ともに 60.9%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、すべての年齢層で『(13)ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである』であり、10 歳代が 46.2%、20 歳代が 25.4%、30 歳代が 25.0%、40 歳代が 30.3%、50 歳代が 31.5%、60 歳代が 17.5%、70 歳以上が 25.4%となっている。【表 5 - 2 - 2】

【表5-2-2 性別・年齢別 個別の人権問題に関わって「人権が尊重される」まちであるとの認識】

- (1) 男性と女性とともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである
 (2) 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである

		(上段:人、下段:%)					(上段:人、下段:%)						
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計	そう思う	どちらかといえばそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		85	375	175	75	33	743	35	331	248	83	46	743
		11.4	50.5	23.6	10.1	4.4	100.0	4.7	44.5	33.4	11.2	6.2	100.0
性別	男性	46	147	66	30	10	299	14	121	113	37	14	299
		15.4	49.2	22.1	10.0	3.3	100.0	4.7	40.5	37.8	12.4	4.7	100.0
	女性	38	220	103	40	18	419	18	201	131	42	27	419
		9.1	52.5	24.6	9.5	4.3	100.0	4.3	48.0	31.3	10.0	6.4	100.0
	その他、回答したくない	0	2	0	2	0	4	0	1	2	1	0	4
	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0	
	1	6	6	3	5	21	3	8	2	3	5	21	
	4.8	28.6	28.6	14.3	23.8	100.0	14.3	38.1	9.5	14.3	23.8	100.0	
年齢別	10歳代	4	8	1	0	0	13	1	7	3	2	0	13
		30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	100.0	7.7	53.8	23.1	15.4	0.0	100.0
	20歳代	6	32	11	7	3	59	1	30	17	8	3	59
		10.2	54.2	18.6	11.9	5.1	100.0	1.7	50.8	28.8	13.6	5.1	100.0
	30歳代	9	59	20	8	4	100	4	46	27	18	5	100
		9.0	59.0	20.0	8.0	4.0	100.0	4.0	46.0	27.0	18.0	5.0	100.0
	40歳代	17	60	23	18	1	119	9	51	47	11	1	119
		14.3	50.4	19.3	15.1	0.8	100.0	7.6	42.9	39.5	9.2	0.8	100.0
	50歳代	11	67	30	13	3	124	5	51	48	16	4	124
		8.9	54.0	24.2	10.5	2.4	100.0	4.0	41.1	38.7	12.9	3.2	100.0
60歳代	16	61	42	13	5	137	6	59	51	14	7	137	
	11.7	44.5	30.7	9.5	3.6	100.0	4.4	43.1	37.2	10.2	5.1	100.0	
70歳以上	21	82	42	12	12	169	5	79	53	11	21	169	
	12.4	48.5	24.9	7.1	7.1	100.0	3.0	46.7	31.4	6.5	12.4	100.0	
不明・無回答	1	6	6	4	5	22	4	8	2	3	5	22	
	4.5	27.3	27.3	18.2	22.7	100.0	18.2	36.4	9.1	13.6	22.7	100.0	

- (3) 子どもが各々の個性を發揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである
 (4) 子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまちである

		(上段:人、下段:%)					(上段:人、下段:%)						
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計	そう思う	どちらかといえばそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		61	329	238	76	39	743	65	318	239	82	39	743
		8.2	44.3	32.0	10.2	5.2	100.0	8.7	42.8	32.2	11.0	5.2	100.0
性別	男性	26	126	99	36	12	299	24	123	102	34	16	299
		8.7	42.1	33.1	12.0	4.0	100.0	8.0	41.1	34.1	11.4	5.4	100.0
	女性	32	197	133	35	22	419	38	186	134	43	18	419
		7.6	47.0	31.7	8.4	5.3	100.0	9.1	44.4	32.0	10.3	4.3	100.0
	その他、回答したくない	0	1	1	2	0	4	0	2	0	2	0	4
	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	
	3	5	5	3	5	21	3	7	3	3	5	21	
	14.3	23.8	23.8	14.3	23.8	100.0	14.3	33.3	14.3	14.3	23.8	100.0	
年齢別	10歳代	3	6	3	1	0	13	4	7	2	0	0	13
		23.1	46.2	23.1	7.7	0.0	100.0	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0	100.0
	20歳代	6	25	17	8	3	59	6	19	19	12	3	59
		10.2	42.4	28.8	13.6	5.1	100.0	10.2	32.2	32.2	20.3	5.1	100.0
	30歳代	10	41	34	12	3	100	11	44	25	18	2	100
		10.0	41.0	34.0	12.0	3.0	100.0	11.0	44.0	25.0	18.0	2.0	100.0
	40歳代	13	56	36	13	1	119	12	56	36	14	1	119
		10.9	47.1	30.3	10.9	0.8	100.0	10.1	47.1	30.3	11.8	0.8	100.0
	50歳代	7	54	44	14	5	124	5	52	48	15	4	124
		5.6	43.5	35.5	11.3	4.0	100.0	4.0	41.9	38.7	12.1	3.2	100.0
60歳代	11	58	52	13	3	137	11	53	56	13	4	137	
	8.0	42.3	38.0	9.5	2.2	100.0	8.0	38.7	40.9	9.5	2.9	100.0	
70歳以上	8	83	47	12	19	169	12	80	50	7	20	169	
	4.7	49.1	27.8	7.1	11.2	100.0	7.1	47.3	29.6	4.1	11.8	100.0	
不明・無回答	3	6	5	3	5	22	4	7	3	3	5	22	
	13.6	27.3	22.7	13.6	22.7	100.0	18.2	31.8	13.6	13.6	22.7	100.0	

- (5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである (6) 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	不明・無回答	合計			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		68	370	213	64	28	743			58	305	263	83	34	743
		9.2	49.8	28.7	8.6	3.8	100.0			7.8	41.0	35.4	11.2	4.6	100.0
性別	男性	27	150	85	29	8	299			20	122	108	40	9	299
	女性	9.0	50.2	28.4	9.7	2.7	100.0			6.7	40.8	36.1	13.4	3.0	100.0
	その他、回答したくない	37	213	123	31	15	419			34	177	148	40	20	419
		8.8	50.8	29.4	7.4	3.6	100.0			8.1	42.2	35.3	9.5	4.8	100.0
	不明・無回答	0	2	0	2	0	4			0	2	1	1	0	4
年齢別	10歳代	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0			0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	100.0
	20歳代	4	5	5	2	5	21			4	4	6	2	5	21
	30歳代	19.0	23.8	23.8	9.5	23.8	100.0			19.0	19.0	28.6	9.5	23.8	100.0
	40歳代	5	4	4	0	0	13			3	6	4	0	0	13
	50歳代	38.5	30.8	30.8	0.0	0.0	100.0			23.1	46.2	30.8	0.0	0.0	100.0
	60歳代	7	29	15	6	2	59			9	25	16	7	2	59
	70歳以上	11.9	49.2	25.4	10.2	3.4	100.0			15.3	42.4	27.1	11.9	3.4	100.0
	不明・無回答	10	49	26	10	5	100			7	48	31	9	5	100
		10.0	49.0	26.0	10.0	5.0	100.0			7.0	48.0	31.0	9.0	5.0	100.0
		13	67	28	10	1	119			10	53	46	9	1	119
	10.9	56.3	23.5	8.4	0.8	100.0			8.4	44.5	38.7	7.6	0.8	100.0	
	9	60	39	14	2	124			6	56	40	19	3	124	
	7.3	48.4	31.5	11.3	1.6	100.0			4.8	45.2	32.3	15.3	2.4	100.0	
	6	66	47	15	3	137			5	48	62	19	3	137	
	4.4	48.2	34.3	10.9	2.2	100.0			3.6	35.0	45.3	13.9	2.2	100.0	
	13	90	49	7	10	169			13	65	58	18	15	169	
	7.7	53.3	29.0	4.1	5.9	100.0			7.7	38.5	34.3	10.7	8.9	100.0	
	5	5	5	2	5	22			5	4	6	2	5	22	
	22.7	22.7	22.7	9.1	22.7	100.0			22.7	18.2	27.3	9.1	22.7	100.0	

- (7) 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである (8) 障がいのある人がさまざまな生活相談ができ、安心して生活を営めるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	不明・無回答	合計			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		31	270	313	81	48	743			34	295	287	82	45	743
		4.2	36.3	42.1	10.9	6.5	100.0			4.6	39.7	38.6	11.0	6.1	100.0
性別	男性	13	101	130	40	15	299			12	115	120	38	14	299
	女性	4.3	33.8	43.5	13.4	5.0	100.0			4.0	38.5	40.1	12.7	4.7	100.0
	その他、回答したくない	16	162	174	39	28	419			19	173	159	42	26	419
		3.8	38.7	41.5	9.3	6.7	100.0			4.5	41.3	37.9	10.0	6.2	100.0
	不明・無回答	0	1	2	1	0	4			0	1	2	1	0	4
年齢別	10歳代	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0			0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
	20歳代	2	6	7	1	5	21			3	6	6	1	5	21
	30歳代	9.5	28.6	33.3	4.8	23.8	100.0			14.3	28.6	28.6	4.8	23.8	100.0
	40歳代	3	5	5	0	0	13			2	8	3	0	0	13
	50歳代	23.1	38.5	38.5	0.0	0.0	100.0			15.4	61.5	23.1	0.0	0.0	100.0
	60歳代	2	23	24	8	2	59			3	24	24	6	2	59
	70歳以上	3.4	39.0	40.7	13.6	3.4	100.0			5.1	40.7	40.7	10.2	3.4	100.0
	不明・無回答	5	40	38	12	5	100			4	43	33	14	6	100
		5.0	40.0	38.0	12.0	5.0	100.0			4.0	43.0	33.0	14.0	6.0	100.0
		8	44	52	14	1	119			9	47	49	13	1	119
	6.7	37.0	43.7	11.8	0.8	100.0			7.6	39.5	41.2	10.9	0.8	100.0	
	5	45	53	16	5	124			5	47	52	15	5	124	
	4.0	36.3	42.7	12.9	4.0	100.0			4.0	37.9	41.9	12.1	4.0	100.0	
	2	52	59	16	8	137			2	58	58	14	5	137	
	1.5	38.0	43.1	11.7	5.8	100.0			1.5	42.3	42.3	10.2	3.6	100.0	
	5	54	75	13	22	169			7	61	62	18	21	169	
	3.0	32.0	44.4	7.7	13.0	100.0			4.1	36.1	36.7	10.7	12.4	100.0	
	1	7	7	2	5	22			2	7	6	2	5	22	
	4.5	31.8	31.8	9.1	22.7	100.0			9.1	31.8	27.3	9.1	22.7	100.0	

(9) 同和地区であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである

(10) 外国籍住民が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		36	262	276	101	68	743
性別	男性	4.8	35.3	37.1	13.6	9.2	100.0
	女性	17	103	120	39	20	299
	その他、回答したくない	5.7	34.4	40.1	13.0	6.7	100.0
	不明・無回答	19	151	154	57	38	419
		4.5	36.0	36.8	13.6	9.1	100.0
年齢別	10歳代	0	1	0	2	1	4
	20歳代	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	100.0
	30歳代	0	7	2	3	9	21
	40歳代	0.0	33.3	9.5	14.3	42.9	100.0
	50歳代	2	6	4	1	0	13
	60歳代	15.4	46.2	30.8	7.7	0.0	100.0
	70歳以上	5	19	25	7	3	59
	不明・無回答	8.5	32.2	42.4	11.9	5.1	100.0
		5	34	38	17	6	100
		5.0	34.0	38.0	17.0	6.0	100.0

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		46	338	223	68	68	743
性別	男性	6.2	45.5	30.0	9.2	9.2	100.0
	女性	18	133	100	29	19	299
	その他、回答したくない	6.0	44.5	33.4	9.7	6.4	100.0
	不明・無回答	28	198	119	35	39	419
		6.7	47.3	28.4	8.4	9.3	100.0
年齢別	10歳代	0	2	1	1	0	4
	20歳代	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	0	5	3	3	10	21
	40歳代	0.0	23.8	14.3	14.3	47.6	100.0
	50歳代	3	8	2	0	0	13
	60歳代	23.1	61.5	15.4	0.0	0.0	100.0
	70歳以上	5	29	16	6	3	59
	不明・無回答	8.5	49.2	27.1	10.2	5.1	100.0
		7	56	23	9	5	100
		7.0	56.0	23.0	9.0	5.0	100.0

(11) 事業者の持つ市民の個人情報保護され、適切に取り扱われているまちである

(12) 犯罪被害者やその家族が再び平穩に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		42	327	225	82	67	743
性別	男性	5.7	44.0	30.3	11.0	9.0	100.0
	女性	17	134	91	38	19	299
	その他、回答したくない	5.7	44.8	30.4	12.7	6.4	100.0
	不明・無回答	25	185	130	40	39	419
		6.0	44.2	31.0	9.5	9.3	100.0
年齢別	10歳代	0	2	1	1	0	4
	20歳代	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	0	6	3	3	9	21
	40歳代	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	100.0
	50歳代	3	6	3	1	0	13
	60歳代	23.1	46.2	23.1	7.7	0.0	100.0
	70歳以上	5	25	16	10	3	59
	不明・無回答	8.5	42.4	27.1	16.9	5.1	100.0
		4	51	31	10	4	100
		4.0	51.0	31.0	10.0	4.0	100.0

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		19	237	318	96	73	743
性別	男性	2.6	31.9	42.8	12.9	9.8	100.0
	女性	9	97	135	38	20	299
	その他、回答したくない	3.0	32.4	45.2	12.7	6.7	100.0
	不明・無回答	10	134	177	54	44	419
		2.4	32.0	42.2	12.9	10.5	100.0
年齢別	10歳代	0	2	1	1	0	4
	20歳代	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	0	4	5	3	9	21
	40歳代	0.0	19.0	23.8	14.3	42.9	100.0
	50歳代	2	6	5	0	0	13
	60歳代	15.4	46.2	38.5	0.0	0.0	100.0
	70歳以上	2	21	23	10	3	59
	不明・無回答	3.4	35.6	39.0	16.9	5.1	100.0
		2	35	44	13	6	100
		2.0	35.0	44.0	13.0	6.0	100.0

(13) ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである (14) LGBT などの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	不明・無回答	合計			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		25	169	342	138	69	743	30	265	280	95	73	743		
性別	男性	11	68	146	54	20	299	13	98	126	41	21	299		
	女性	13	97	191	78	40	419	16	163	148	49	43	419		
	その他、回答したくない	0	1	0	3	0	4	0	1	1	2	0	4		
	不明・無回答	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	100.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0		
年齢別		1	3	5	3	9	21	1	3	5	3	9	21		
10歳代		4.8	14.3	23.8	14.3	42.9	100.0	4.8	14.3	23.8	14.3	42.9	100.0		
20歳代		2	4	6	1	0	13	2	7	2	2	0	13		
30歳代		15.4	30.8	46.2	7.7	0.0	100.0	15.4	53.8	15.4	15.4	0.0	100.0		
40歳代		5	10	23	18	3	59	2	25	17	12	3	59		
50歳代		8.5	16.9	39.0	30.5	5.1	100.0	3.4	42.4	28.8	20.3	5.1	100.0		
60歳代		3	22	48	23	4	100	7	42	34	12	5	100		
70歳以上		3.0	22.0	48.0	23.0	4.0	100.0	7.0	42.0	34.0	12.0	5.0	100.0		
不明・無回答		5	31	49	32	2	119	6	49	44	17	3	119		
		4.2	26.1	41.2	26.9	1.7	100.0	5.0	41.2	37.0	14.3	2.5	100.0		
		5	34	55	23	7	124	3	50	47	17	7	124		
		4.0	27.4	44.4	18.5	5.6	100.0	2.4	40.3	37.9	13.7	5.6	100.0		
		1	23	81	21	11	137	1	39	68	17	12	137		
		0.7	16.8	59.1	15.3	8.0	100.0	0.7	28.5	49.6	12.4	8.8	100.0		
		2	41	75	18	33	169	7	50	63	15	34	169		
		1.2	24.3	44.4	10.7	19.5	100.0	4.1	29.6	37.3	8.9	20.1	100.0		
		2	4	5	2	9	22	2	3	5	3	9	22		
		9.1	18.2	22.7	9.1	40.9	100.0	9.1	13.6	22.7	13.6	40.9	100.0		

職業別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』と『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』で、ともに61.7%となっており、「民間正規雇用」「非正規雇用」では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』であり、数値は各々67.9%、65.4%となっており、「公務員、教員」では『(10)外国籍住民が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである』が66.7%、「家事専業、学生、無職」では『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』が60.3%となっている。

一方で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、すべての職業で『(13)ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである』であり、「自営業」が24.7%、「民間正規雇用」が26.9%、「公務員、教員」が29.2%、「非正規雇用」が21.3%、「家事専業、学生、無職」が27.9%となっている。【表5 - 2 - 3】

【表5 - 2 - 3 職業別 個別の人権問題に関わって「人権が尊重されるまち」であるとの認識】

- (1) 男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである
- (2) 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである

	(上段:人, 下段:%)						(上段:人, 下段:%)					
	そう思う	思どちらかといえそう	はどちらかといえそう	そうは思わない	不明・無回答	合計	そう思う	思どちらかといえそう	はどちらかといえそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体	85	375	175	75	33	743	35	331	248	83	46	743
	11.4	50.5	23.6	10.1	4.4	100.0	4.7	44.5	33.4	11.2	6.2	100.0
自営業	12	38	23	7	1	81	5	36	32	6	2	81
	14.8	46.9	28.4	8.6	1.2	100.0	6.2	44.4	39.5	7.4	2.5	100.0
民間正規雇用	25	106	31	26	5	193	9	80	69	30	5	193
	13.0	54.9	16.1	13.5	2.6	100.0	4.7	41.5	35.8	15.5	2.6	100.0
公務員、教員	0	15	5	4	0	24	1	13	5	5	0	24
	0.0	62.5	20.8	16.7	0.0	100.0	4.2	54.2	20.8	20.8	0.0	100.0
非正規雇用	13	70	28	13	3	127	3	63	41	14	6	127
	10.2	55.1	22.0	10.2	2.4	100.0	2.4	49.6	32.3	11.0	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	35	143	83	25	19	305	16	134	99	28	28	305
	11.5	46.9	27.2	8.2	6.2	100.0	5.2	43.9	32.5	9.2	9.2	100.0
不明・無回答	0	3	5	0	5	13	1	5	2	0	5	13
	0.0	23.1	38.5	0.0	38.5	100.0	7.7	38.5	15.4	0.0	38.5	100.0

- (3) こどもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである
- (4) 子育て家庭が安心してこどもを産み育てられるまちである

	(上段:人, 下段:%)						(上段:人, 下段:%)					
	そう思う	思どちらかといえそう	はどちらかといえそう	そうは思わない	不明・無回答	合計	そう思う	思どちらかといえそう	はどちらかといえそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体	61	329	238	76	39	743	65	318	239	82	39	743
	8.2	44.3	32.0	10.2	5.2	100.0	8.7	42.8	32.2	11.0	5.2	100.0
自営業	6	37	31	6	1	81	5	40	28	5	3	81
	7.4	45.7	38.3	7.4	1.2	100.0	6.2	49.4	34.6	6.2	3.7	100.0
民間正規雇用	19	87	56	26	5	193	18	78	58	33	6	193
	9.8	45.1	29.0	13.5	2.6	100.0	9.3	40.4	30.1	17.1	3.1	100.0
公務員、教員	2	9	8	4	1	24	2	10	7	5	0	24
	8.3	37.5	33.3	16.7	4.2	100.0	8.3	41.7	29.2	20.8	0.0	100.0
非正規雇用	10	57	42	13	5	127	10	48	49	14	6	127
	7.9	44.9	33.1	10.2	3.9	100.0	7.9	37.8	38.6	11.0	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	22	135	99	27	22	305	27	140	93	25	20	305
	7.2	44.3	32.5	8.9	7.2	100.0	8.9	45.9	30.5	8.2	6.6	100.0
不明・無回答	2	4	2	0	5	13	3	2	4	0	4	13
	15.4	30.8	15.4	0.0	38.5	100.0	23.1	15.4	30.8	0.0	30.8	100.0

- (5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである
- (6) 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである

	(上段:人, 下段:%)						(上段:人, 下段:%)					
	そう思う	思どちらかといえそう	はどちらかといえそう	そうは思わない	不明・無回答	合計	そう思う	思どちらかといえそう	はどちらかといえそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体	68	370	213	64	28	743	58	305	263	83	34	743
	9.2	49.8	28.7	8.6	3.8	100.0	7.8	41.0	35.4	11.2	4.6	100.0
自営業	6	44	24	5	2	81	6	36	30	5	4	81
	7.4	54.3	29.6	6.2	2.5	100.0	7.4	44.4	37.0	6.2	4.9	100.0
民間正規雇用	26	86	55	23	3	193	17	82	62	29	3	193
	13.5	44.6	28.5	11.9	1.6	100.0	8.8	42.5	32.1	15.0	1.6	100.0
公務員、教員	0	15	4	5	0	24	0	11	9	4	0	24
	0.0	62.5	16.7	20.8	0.0	100.0	0.0	45.8	37.5	16.7	0.0	100.0
非正規雇用	5	66	43	7	6	127	6	60	48	9	4	127
	3.9	52.0	33.9	5.5	4.7	100.0	4.7	47.2	37.8	7.1	3.1	100.0
家事専業、学生、無職	29	155	85	24	12	305	27	113	111	36	18	305
	9.5	50.8	27.9	7.9	3.9	100.0	8.9	37.0	36.4	11.8	5.9	100.0
不明・無回答	2	4	2	0	5	13	2	3	3	0	5	13
	15.4	30.8	15.4	0.0	38.5	100.0	15.4	23.1	23.1	0.0	38.5	100.0

(7) 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである

	そう思う	思う どちらかといえ ばそう	は どちらかといえ ばそう	ど ちらかといえ ばそう	そ うは 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	31 4.2	270 36.3	313 42.1	81 10.9	48 6.5	743 100.0	
自営業	6 7.4	32 39.5	32 39.5	8 9.9	3 3.7	81 100.0	
民間正規雇用	9 4.7	70 36.3	85 44.0	25 13.0	4 2.1	193 100.0	
公務員、教員	1 4.2	8 33.3	11 45.8	4 16.7	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	3 2.4	49 38.6	56 44.1	13 10.2	6 4.7	127 100.0	
家事専業、学生、無職	12 3.9	107 35.1	125 41.0	31 10.2	30 9.8	305 100.0	
不明・無回答	0 0.0	4 30.8	4 30.8	0 0.0	5 38.5	13 100.0	

(8) 障がいのある人がさまざまな生活相談ができ、安心して生活を営めるまちである

	そう思う	思う どちらかといえ ばそう	は どちらかといえ ばそう	ど ちらかといえ ばそう	そ うは 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	34 4.6	295 39.7	287 38.6	82 11.0	45 6.1	743 100.0	
自営業	5 6.2	34 42.0	30 37.0	8 9.9	4 4.9	81 100.0	
民間正規雇用	8 4.1	77 39.9	78 40.4	26 13.5	4 2.1	193 100.0	
公務員、教員	0 0.0	9 37.5	10 41.7	5 20.8	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	3 2.4	47 37.0	59 46.5	11 8.7	7 5.5	127 100.0	
家事専業、学生、無職	17 5.6	124 40.7	107 35.1	32 10.5	25 8.2	305 100.0	
不明・無回答	1 7.7	4 30.8	3 23.1	0 0.0	5 38.5	13 100.0	

(9) 同和地区であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである

	そう思う	思う どちらかといえ ばそう	は どちらかといえ ばそう	ど ちらかといえ ばそう	そ うは 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	36 4.8	262 35.3	276 37.1	101 13.6	68 9.2	743 100.0	
自営業	2 2.5	34 42.0	27 33.3	11 13.6	7 8.6	81 100.0	
民間正規雇用	12 6.2	65 33.7	77 39.9	30 15.5	9 4.7	193 100.0	
公務員、教員	1 4.2	10 41.7	9 37.5	4 16.7	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	6 4.7	48 37.8	48 37.8	19 15.0	6 4.7	127 100.0	
家事専業、学生、無職	15 4.9	102 33.4	113 37.0	36 11.8	39 12.8	305 100.0	
不明・無回答	0 0.0	3 23.1	2 15.4	1 7.7	7 53.8	13 100.0	

(10) 外国籍住民が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである

	そう思う	思う どちらかといえ ばそう	は どちらかといえ ばそう	ど ちらかといえ ばそう	そ うは 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	46 6.2	338 45.5	223 30.0	68 9.2	68 9.2	743 100.0	
自営業	7 8.6	38 46.9	22 27.2	7 8.6	7 8.6	81 100.0	
民間正規雇用	14 7.3	87 45.1	64 33.2	21 10.9	7 3.6	193 100.0	
公務員、教員	1 4.2	15 62.5	5 20.8	3 12.5	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	7 5.5	68 53.5	33 26.0	12 9.4	7 5.5	127 100.0	
家事専業、学生、無職	17 5.6	127 41.6	98 32.1	24 7.9	39 12.8	305 100.0	
不明・無回答	0 0.0	3 23.1	1 7.7	1 7.7	8 61.5	13 100.0	

(11) 事業者の持つ市民の個人情報保護され、適切に取り扱われているまちである

	そう思う	思う どちらかといえ ばそう	は どちらかといえ ばそう	ど ちらかといえ ばそう	そ うは 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	42 5.7	327 44.0	225 30.3	82 11.0	67 9.0	743 100.0	
自営業	3 3.7	39 48.1	23 28.4	7 8.6	9 11.1	81 100.0	
民間正規雇用	12 6.2	89 46.1	61 31.6	24 12.4	7 3.6	193 100.0	
公務員、教員	1 4.2	13 54.2	8 33.3	2 8.3	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	6 4.7	55 43.3	44 34.6	16 12.6	6 4.7	127 100.0	
家事専業、学生、無職	20 6.6	129 42.3	87 28.5	31 10.2	38 12.5	305 100.0	
不明・無回答	0 0.0	2 15.4	2 15.4	2 15.4	7 53.8	13 100.0	

(12) 犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである

	そう思う	思う どちらかといえ ばそう	は どちらかといえ ばそう	ど ちらかといえ ばそう	そ うは 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	19 2.6	237 31.9	318 42.8	96 12.9	73 9.8	743 100.0	
自営業	2 2.5	29 35.8	29 35.8	13 16.0	8 9.9	81 100.0	
民間正規雇用	8 4.1	59 30.6	89 46.1	30 15.5	7 3.6	193 100.0	
公務員、教員	0 0.0	8 33.3	12 50.0	4 16.7	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	2 1.6	41 32.3	61 48.0	14 11.0	9 7.1	127 100.0	
家事専業、学生、無職	7 2.3	97 31.8	126 41.3	33 10.8	42 13.8	305 100.0	
不明・無回答	0 0.0	3 23.1	1 7.7	2 15.4	7 53.8	13 100.0	

(13) ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである (14) LGBT などの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう	そうは思わない	不明・無回答	合計		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体	25 3.4	169 22.7	342 46.0	138 18.6	69 9.3	743 100.0		30 4.0	265 35.7	280 37.7	95 12.8	73 9.8	743 100.0
自営業	1 1.2	19 23.5	42 51.9	11 13.6	8 9.9	81 100.0		5 6.2	28 34.6	32 39.5	8 9.9	8 9.9	81 100.0
民間正規雇用	8 4.1	44 22.8	86 44.6	48 24.9	7 3.6	193 100.0		10 5.2	69 35.8	77 39.9	30 15.5	7 3.6	193 100.0
公務員、教員	0 0.0	7 29.2	12 50.0	5 20.8	0 0.0	24 100.0		0 0.0	13 54.2	8 33.3	3 12.5	0 0.0	24 100.0
非正規雇用	3 2.4	24 18.9	63 49.6	31 24.4	6 4.7	127 100.0		2 1.6	58 45.7	42 33.1	17 13.4	8 6.3	127 100.0
家事専業、学生、無職	12 3.9	73 23.9	138 45.2	41 13.4	41 13.4	305 100.0		12 3.9	96 31.5	119 39.0	35 11.5	43 14.1	305 100.0
不明・無回答	1 7.7	2 15.4	1 7.7	2 15.4	7 53.8	13 100.0		1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4	7 53.8	13 100.0

学歴別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「中学卒」では『(5)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』で62.0%、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では『(1)男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』であり、数値は各々59.5%、68.8%、64.5%となっている。

一方で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、すべての学歴で『(13)ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである』であり、「中学卒」が25.0%、「高校卒」が26.1%、「短大卒」が28.6%、「大学卒」が26.0%となっている。【表5 - 2 - 4】

【表5 - 2 - 4 学歴別 個別の人権問題に関わって「人権が尊重されるまち」であるとの認識】

- (1) 男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである (2) 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである

学歴別	(上段:人, 下段:%)						(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	思っ ど ち ら か と い え ば そ う	は ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合計	そう思う	思っ ど ち ら か と い え ば そ う	は ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
市全体	85	375	175	75	33	743	35	331	248	83	46	743	
	11.4	50.5	23.6	10.1	4.4	100.0	4.7	44.5	33.4	11.2	6.2	100.0	
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	15	44	22	12	7	100	7	35	33	14	11	100	
	15.0	44.0	22.0	12.0	7.0	100.0	7.0	35.0	33.0	14.0	11.0	100.0	
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	26	131	68	31	8	264	10	119	93	28	14	264	
	9.8	49.6	25.8	11.7	3.0	100.0	3.8	45.1	35.2	10.6	5.3	100.0	
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	16	90	30	14	4	154	7	74	49	17	7	154	
	10.4	58.4	19.5	9.1	2.6	100.0	4.5	48.1	31.8	11.0	4.5	100.0	
4.大学、大学院	26	103	49	16	6	200	10	93	67	23	7	200	
	13.0	51.5	24.5	8.0	3.0	100.0	5.0	46.5	33.5	11.5	3.5	100.0	
5.その他	1	1	3	2	2	9	0	3	3	1	2	9	
	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	100.0	0.0	33.3	33.3	11.1	22.2	100.0	
不明・無回答	1	6	3	0	6	16	1	7	3	0	5	16	
	6.3	37.5	18.8	0.0	37.5	100.0	6.3	43.8	18.8	0.0	31.3	100.0	

- (3) こどもが各々の個性を發揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである (4) 子育て家庭が安心してこどもを産み育てられるまちである

学歴別	(上段:人, 下段:%)						(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	思っ ど ち ら か と い え ば そ う	は ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合計	そう思う	思っ ど ち ら か と い え ば そ う	は ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
市全体	61	329	238	76	39	743	65	318	239	82	39	743	
	8.2	44.3	32.0	10.2	5.2	100.0	8.7	42.8	32.2	11.0	5.2	100.0	
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	5	49	28	9	9	100	9	46	27	8	10	100	
	5.0	49.0	28.0	9.0	9.0	100.0	9.0	46.0	27.0	8.0	10.0	100.0	
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	18	107	97	28	14	264	20	110	95	26	13	264	
	6.8	40.5	36.7	10.6	5.3	100.0	7.6	41.7	36.0	9.8	4.9	100.0	
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	12	84	38	15	5	154	15	67	53	15	4	154	
	7.8	54.5	24.7	9.7	3.2	100.0	9.7	43.5	34.4	9.7	2.6	100.0	
4.大学、大学院	25	82	67	22	4	200	19	88	57	30	6	200	
	12.5	41.0	33.5	11.0	2.0	100.0	9.5	44.0	28.5	15.0	3.0	100.0	
5.その他	0	4	2	2	1	9	1	3	2	2	1	9	
	0.0	44.4	22.2	22.2	11.1	100.0	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	100.0	
不明・無回答	1	3	6	0	6	16	1	4	5	1	5	16	
	6.3	18.8	37.5	0.0	37.5	100.0	6.3	25.0	31.3	6.3	31.3	100.0	

- (5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである (6) 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである

学歴別	(上段:人, 下段:%)						(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	思っ ど ち ら か と い え ば そ う	は ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合計	そう思う	思っ ど ち ら か と い え ば そ う	は ど ち ら か と い え ば そ う	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
市全体	68	370	213	64	28	743	58	305	263	83	34	743	
	9.2	49.8	28.7	8.6	3.8	100.0	7.8	41.0	35.4	11.2	4.6	100.0	
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	12	50	28	6	4	100	11	33	41	9	6	100	
	12.0	50.0	28.0	6.0	4.0	100.0	11.0	33.0	41.0	9.0	6.0	100.0	
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	24	125	79	27	9	264	16	105	97	35	11	264	
	9.1	47.3	29.9	10.2	3.4	100.0	6.1	39.8	36.7	13.3	4.2	100.0	
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	9	86	42	12	5	154	7	74	52	14	7	154	
	5.8	55.8	27.3	7.8	3.2	100.0	4.5	48.1	33.8	9.1	4.5	100.0	
4.大学、大学院	20	101	57	18	4	200	21	87	66	22	4	200	
	10.0	50.5	28.5	9.0	2.0	100.0	10.5	43.5	33.0	11.0	2.0	100.0	
5.その他	1	5	1	1	1	9	1	2	3	2	1	9	
	11.1	55.6	11.1	11.1	11.1	100.0	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	100.0	
不明・無回答	2	3	6	0	5	16	2	4	4	1	5	16	
	12.5	18.8	37.5	0.0	31.3	100.0	12.5	25.0	25.0	6.3	31.3	100.0	

(7) 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである

(8) 障がいのある人がさまざまな生活相談ができ、安心して生活を営めるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		31	270	313	81	48	743	
		4.2	36.3	42.1	10.9	6.5	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4	27	45	13	11	100	
		4.0	27.0	45.0	13.0	11.0	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	13	94	112	28	17	264	
		4.9	35.6	42.4	10.6	6.4	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3	58	70	16	7	154	
		1.9	37.7	45.5	10.4	4.5	100.0	
	4.大学、大学院	10	84	78	22	6	200	
	5.0	42.0	39.0	11.0	3.0	100.0		
5.その他	1	2	2	2	2	9		
	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2	100.0		
不明・無回答	0	5	6	0	5	16		
	0.0	31.3	37.5	0.0	31.3	100.0		

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		34	295	287	82	45	743	
		4.6	39.7	38.6	11.0	6.1	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	5	35	36	16	8	100	
		5.0	35.0	36.0	16.0	8.0	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	14	107	97	30	16	264	
		5.3	40.5	36.7	11.4	6.1	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3	61	66	16	8	154	
		1.9	39.6	42.9	10.4	5.2	100.0	
	4.大学、大学院	10	86	80	18	6	200	
	5.0	43.0	40.0	9.0	3.0	100.0		
5.その他	2	2	1	2	2	9		
	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	100.0		
不明・無回答	0	4	7	0	5	16		
	0.0	25.0	43.8	0.0	31.3	100.0		

(9) 同和地区であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである

(10) 外国籍住民が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		36	262	276	101	68	743	
		4.8	35.3	37.1	13.6	9.2	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	5	36	29	13	17	100	
		5.0	36.0	29.0	13.0	17.0	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	12	89	103	38	22	264	
		4.5	33.7	39.0	14.4	8.3	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6	58	56	25	9	154	
		3.9	37.7	36.4	16.2	5.8	100.0	
	4.大学、大学院	12	73	84	20	11	200	
	6.0	36.5	42.0	10.0	5.5	100.0		
5.その他	1	2	1	4	1	9		
	11.1	22.2	11.1	44.4	11.1	100.0		
不明・無回答	0	4	3	1	8	16		
	0.0	25.0	18.8	6.3	50.0	100.0		

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		46	338	223	68	68	743	
		6.2	45.5	30.0	9.2	9.2	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7	34	32	11	16	100	
		7.0	34.0	32.0	11.0	16.0	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	14	121	81	25	23	264	
		5.3	45.8	30.7	9.5	8.7	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6	78	48	14	8	154	
		3.9	50.6	31.2	9.1	5.2	100.0	
	4.大学、大学院	18	97	60	14	11	200	
	9.0	48.5	30.0	7.0	5.5	100.0		
5.その他	1	3	0	4	1	9		
	11.1	33.3	0.0	44.4	11.1	100.0		
不明・無回答	0	5	2	0	9	16		
	0.0	31.3	12.5	0.0	56.3	100.0		

(11) 事業者の持つ市民の個人情報が保護され、適切に取り扱われているまちである

(12) 犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		42	327	225	82	67	743	
		5.7	44.0	30.3	11.0	9.0	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7	39	21	14	19	100	
		7.0	39.0	21.0	14.0	19.0	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	15	104	94	32	19	264	
		5.7	39.4	35.6	12.1	7.2	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	7	81	44	12	10	154	
		4.5	52.6	28.6	7.8	6.5	100.0	
	4.大学、大学院	13	96	62	19	10	200	
	6.5	48.0	31.0	9.5	5.0	100.0		
5.その他	0	3	1	4	1	9		
	0.0	33.3	11.1	44.4	11.1	100.0		
不明・無回答	0	4	3	1	8	16		
	0.0	25.0	18.8	6.3	50.0	100.0		

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう	どちらかといえはそう	そうは思わない	不明・無回答	合計
市全体		19	237	318	96	73	743	
		2.6	31.9	42.8	12.9	9.8	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	0	31	37	15	17	100	
		0.0	31.0	37.0	15.0	17.0	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	8	83	117	33	23	264	
		3.0	31.4	44.3	12.5	8.7	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4	55	60	22	13	154	
		2.6	35.7	39.0	14.3	8.4	100.0	
	4.大学、大学院	7	64	98	20	11	200	
	3.5	32.0	49.0	10.0	5.5	100.0		
5.その他	0	2	1	5	1	9		
	0.0	22.2	11.1	55.6	11.1	100.0		
不明・無回答	0	2	5	1	8	16		
	0.0	12.5	31.3	6.3	50.0	100.0		

(13) ホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである

(14) LGBTなどの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである

		そう思う	思う どちらか といえば そう	どちらか かとい えば そう	は 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計			そう思う	思う どちらか といえば そう	どちらか かとい えば そう	は 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		25	169	342	138	69	743			30	265	280	95	73	743				
		3.4	22.7	46.0	18.6	9.3	100.0			4.0	35.7	37.7	12.8	9.8	100.0				
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4	21	44	16	15	100			4	26	40	15	15	100				
		4.0	21.0	44.0	16.0	15.0	100.0			4.0	26.0	40.0	15.0	15.0	100.0				
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	10	59	123	48	24	264			10	85	107	37	25	264				
		3.8	22.3	46.6	18.2	9.1	100.0			3.8	32.2	40.5	14.0	9.5	100.0				
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3	41	65	35	10	154			3	66	53	20	12	154				
		1.9	26.6	42.2	22.7	6.5	100.0			1.9	42.9	34.4	13.0	7.8	100.0				
	4.大学、大学院	7	45	104	33	11	200			11	83	76	18	12	200				
		3.5	22.5	52.0	16.5	5.5	100.0			5.5	41.5	38.0	9.0	6.0	100.0				
	5.その他	1	2	2	3	1	9			1	4	1	2	1	9				
		11.1	22.2	22.2	33.3	11.1	100.0			11.1	44.4	11.1	22.2	11.1	100.0				
不明・無回答	0	1	4	3	8	16			1	1	3	3	8	16					
	0.0	6.3	25.0	18.8	50.0	100.0			6.3	6.3	18.8	18.8	50.0	100.0					

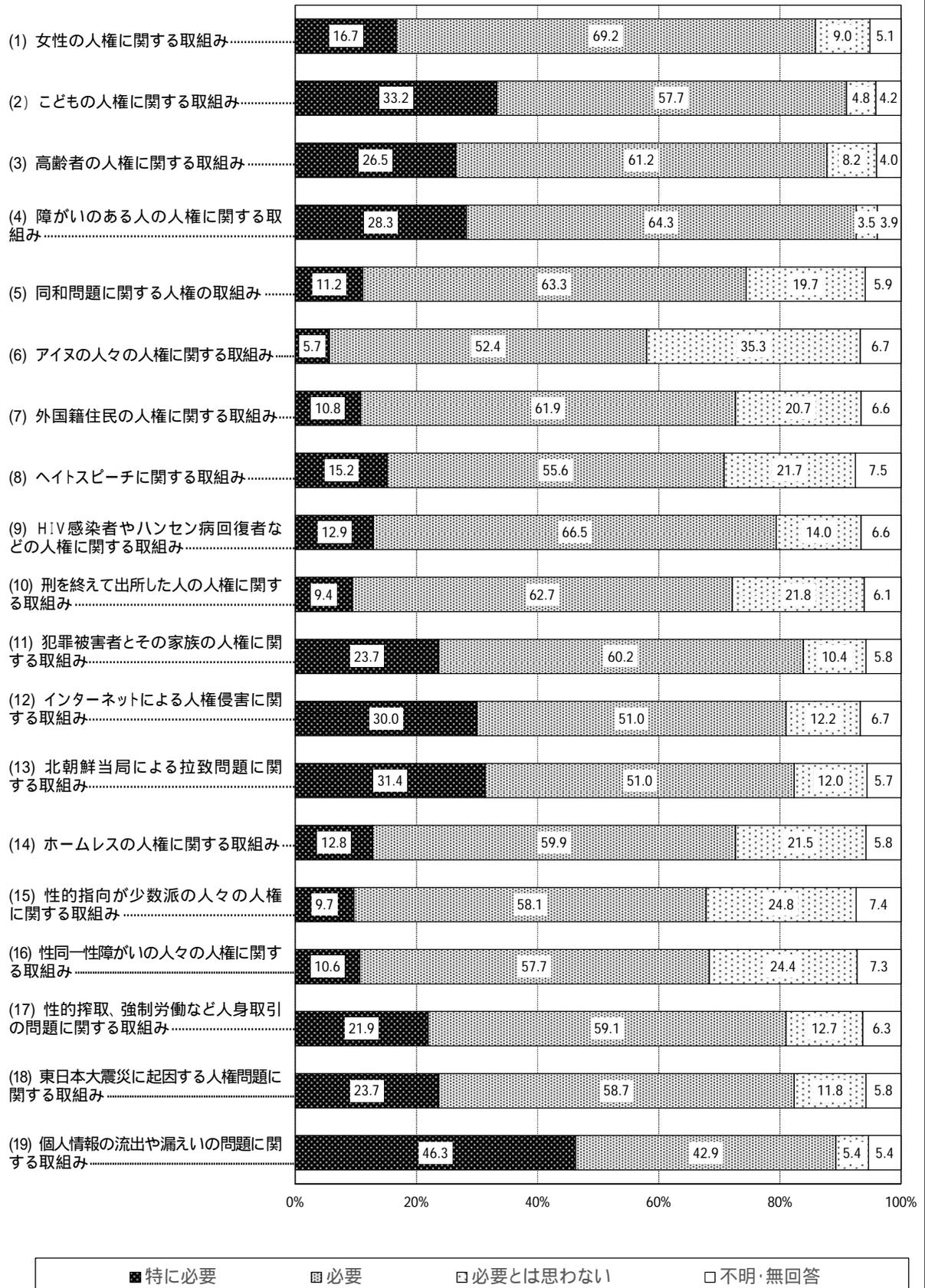
5 - 3 . 個別の人権問題に関する市の取組みの必要性

問15 あなたは、次の(1)～(19)の項目に関する大阪市の取組みについて、どの程度必要であると思いますか。すべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに)

【表5 - 3 - 1 個別の人権問題に関する市の取組みの必要性】

	(上段:人、下段:%)				
	特に必要	必要	思わ 要 な と い は	無 不 回 明 答	合 計
(1) 女性の人権に関する取組み	124	514	67	38	743
	16.7	69.2	9.0	5.1	100.0
(2) こどもの人権に関する取組み	247	429	36	31	743
	33.2	57.7	4.8	4.2	100.0
(3) 高齢者の人権に関する取組み	197	455	61	30	743
	26.5	61.2	8.2	4.0	100.0
(4) 障がいのある人の人権に関する取組み	210	478	26	29	743
	28.3	64.3	3.5	3.9	100.0
(5) 同和問題に関する人権の取組み	83	470	146	44	743
	11.2	63.3	19.7	5.9	100.0
(6) アイヌの人々の人権に関する取組み	42	389	262	50	743
	5.7	52.4	35.3	6.7	100.0
(7) 外国籍住民の人権に関する取組み	80	460	154	49	743
	10.8	61.9	20.7	6.6	100.0
(8) ヘイトスピーチに関する取組み	113	413	161	56	743
	15.2	55.6	21.7	7.5	100.0
(9) HIV感染者やハンセン病回復者などの人権に関する取組み	96	494	104	49	743
	12.9	66.5	14.0	6.6	100.0
(10) 刑を終えて出所した人の人権に関する取組み	70	466	162	45	743
	9.4	62.7	21.8	6.1	100.0
(11) 犯罪被害者とその家族の人権に関する取組み	176	447	77	43	743
	23.7	60.2	10.4	5.8	100.0
(12) インターネットによる人権侵害に関する取組み	223	379	91	50	743
	30.0	51.0	12.2	6.7	100.0
(13) 北朝鮮当局による拉致問題に関する取組み	233	379	89	42	743
	31.4	51.0	12.0	5.7	100.0
(14) ホームレスの人権に関する取組み	95	445	160	43	743
	12.8	59.9	21.5	5.8	100.0
(15) 性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み	72	432	184	55	743
	9.7	58.1	24.8	7.4	100.0
(16) 性同一性障がいの人々の人権に関する取組み	79	429	181	54	743
	10.6	57.7	24.4	7.3	100.0
(17) 性的搾取、強制労働など人身取引の問題に関する取組み	163	439	94	47	743
	21.9	59.1	12.7	6.3	100.0
(18) 東日本大震災に起因する人権問題に関する取組み	176	436	88	43	743
	23.7	58.7	11.8	5.8	100.0
(19) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み	344	319	40	40	743
	46.3	42.9	5.4	5.4	100.0

【図5-3 個別の人権問題に関する市の取組みの必要性】



個別の人権問題に対する大阪市の取組みについて尋ねたところ、「特に必要」「必要」と答えた人の合計の割合は、『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』が92.6%と最も高く、次いで『(2)こどもの人権に関する取組み』が91.0%、『(19)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み』が89.2%となっている。

一方で、「必要とは思わない」と答えた人の割合は、『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』が35.3%と最も高く、次いで『(15)性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み』が24.8%、『(16)性同一性障がいの人々の人権に関する取組み』が24.4%となっている。

性別で見ると、「特に必要」「必要」と答えた人の合計の割合は、男性では『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』が93.6%と最も高く、次いで『(2)こどもの人権に関する取組み』が90.6%、『(19)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み』が89.3%となっている。

女性では『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』が93.6%と最も高く、次いで『(2)こどもの人権に関する取組み』が92.8%、『(19)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み』が90.7%となっている。

一方で、「必要とは思わない」と答えた人の割合は、男性では『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』が36.8%と最も高く、次いで『(15)性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み』が27.4%、『(16)性同一性障がいの人々の人権に関する取組み』が27.1%となっている。

女性では『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』が34.8%と最も高く、次いで『(15)性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み』が23.2%、『(16)性同一性障がいの人々の人権に関する取組み』が22.4%となっている。

年齢別で見ると、「特に必要」「必要」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10歳代では『(1)女性の人権に関する取組み』、『(2)こどもの人権に関する取組み』、『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』、『(7)外国籍住民の人権に関する取組み』、『(11)犯罪被害者とその家族の人権に関する取組み』、『(12)インターネットによる人権侵害に関する取組み』、『(13)北朝鮮当局による拉致問題に関する取組み』、『(19)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み』で、何れも92.3%となっており、20歳代では『(1)女性の人権に関する取組み』と『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』で、ともに94.9%となっており、30歳代が『(19)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み』で97.0%、40歳代が『(2)こどもの人権に関する取組み』で96.6%、50歳代が『(3)高齢者の人権に関する取組み』で96.0%となっている。また、60歳代、70歳代以上では『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』であり、数値は各々94.2%、90.5%となっている。

一方で、「必要とは思わない」と答えた人の割合が最も高いのは、10歳代では『(8)ヘイトスピーチに関する取組み』で30.8%、20歳代では『(10)刑を終えて出所した人の人権に関する取組み』が44.1%、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』であり、数値は各々52.0%、40.3%、32.3%、29.2%、30.8%となっている。【表5 - 3 - 2】

【表5-3-2 性別・年齢別 個別の人権問題に関する市の取組みの必要性】

(1) 女性の人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ 必要 な いは	無不 回答 ・	合計
市全体		124	514	67	38	743
		16.7	69.2	9.0	5.1	100.0
性別	男性	51	203	35	10	299
		17.1	67.9	11.7	3.3	100.0
	女性	71	299	29	20	419
		16.9	71.4	6.9	4.8	100.0
	その他、回答したくない	1	1	2	0	4
	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0	
不明・無回答		1	11	1	8	21
		4.8	52.4	4.8	38.1	100.0
年齢別	10歳代	5	7	1	0	13
		38.5	53.8	7.7	0.0	100.0
	20歳代	15	41	3	0	59
		25.4	69.5	5.1	0.0	100.0
	30歳代	30	55	14	1	100
		30.0	55.0	14.0	1.0	100.0
	40歳代	26	78	14	1	119
		21.8	65.5	11.8	0.8	100.0
	50歳代	16	95	11	2	124
		12.9	76.6	8.9	1.6	100.0
	60歳代	14	106	10	7	137
		10.2	77.4	7.3	5.1	100.0
	70歳以上	16	122	13	18	169
	9.5	72.2	7.7	10.7	100.0	
不明・無回答		2	10	1	9	22
		9.1	45.5	4.5	40.9	100.0

(2) こどもの人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ 必要 な いは	無不 回答 ・	合計
市全体		247	429	36	31	743
		33.2	57.7	4.8	4.2	100.0
性別	男性	103	168	20	8	299
		34.4	56.2	6.7	2.7	100.0
	女性	140	249	15	15	419
		33.4	59.4	3.6	3.6	100.0
	その他、回答したくない	1	2	1	0	4
	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0	
不明・無回答		3	10	0	8	21
		14.3	47.6	0.0	38.1	100.0
年齢別	10歳代	8	4	1	0	13
		61.5	30.8	7.7	0.0	100.0
	20歳代	19	36	4	0	59
		32.2	61.0	6.8	0.0	100.0
	30歳代	47	46	6	1	100
		47.0	46.0	6.0	1.0	100.0
	40歳代	52	63	4	0	119
		43.7	52.9	3.4	0.0	100.0
	50歳代	36	82	5	1	124
		29.0	66.1	4.0	0.8	100.0
	60歳代	42	80	9	6	137
		30.7	58.4	6.6	4.4	100.0
	70歳以上	39	109	7	14	169
	23.1	64.5	4.1	8.3	100.0	
不明・無回答		4	9	0	9	22
		18.2	40.9	0.0	40.9	100.0

(3) 高齢者の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ 必要 な いは	無不 回答 ・	合計
市全体		197	455	61	30	743
		26.5	61.2	8.2	4.0	100.0
性別	男性	74	186	32	7	299
		24.7	62.2	10.7	2.3	100.0
	女性	118	259	27	15	419
		28.2	61.8	6.4	3.6	100.0
	その他、回答したくない	1	1	2	0	4
	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0	
不明・無回答		4	9	0	8	21
		19.0	42.9	0.0	38.1	100.0
年齢別	10歳代	8	3	2	0	13
		61.5	23.1	15.4	0.0	100.0
	20歳代	17	32	10	0	59
		28.8	54.2	16.9	0.0	100.0
	30歳代	25	61	13	1	100
		25.0	61.0	13.0	1.0	100.0
	40歳代	33	73	12	1	119
		27.7	61.3	10.1	0.8	100.0
	50歳代	30	89	4	1	124
		24.2	71.8	3.2	0.8	100.0
	60歳代	38	85	8	6	137
		27.7	62.0	5.8	4.4	100.0
	70歳以上	41	104	11	13	169
	24.3	61.5	6.5	7.7	100.0	
不明・無回答		5	8	1	8	22
		22.7	36.4	4.5	36.4	100.0

(4) 障がいのある人の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ 必要 な いは	無不 回答 ・	合計
市全体		210	478	26	29	743
		28.3	64.3	3.5	3.9	100.0
性別	男性	90	190	10	9	299
		30.1	63.5	3.3	3.0	100.0
	女性	116	276	15	12	419
		27.7	65.9	3.6	2.9	100.0
	その他、回答したくない	1	2	1	0	4
	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0	
不明・無回答		3	10	0	8	21
		14.3	47.6	0.0	38.1	100.0
年齢別	10歳代	6	6	1	0	13
		46.2	46.2	7.7	0.0	100.0
	20歳代	20	36	3	0	59
		33.9	61.0	5.1	0.0	100.0
	30歳代	33	60	6	1	100
		33.0	60.0	6.0	1.0	100.0
	40歳代	39	75	4	1	119
		32.8	63.0	3.4	0.8	100.0
	50歳代	33	85	5	1	124
		26.6	68.5	4.0	0.8	100.0
	60歳代	32	97	2	6	137
		23.4	70.8	1.5	4.4	100.0
	70歳以上	43	110	4	12	169
	25.4	65.1	2.4	7.1	100.0	
不明・無回答		4	9	1	8	22
		18.2	40.9	4.5	36.4	100.0

(5) 同和問題に関する人権の取組み

		特に必要	必要	思わ 必要 な いは	無不 回答 ・	合計
市全体		83	470	146	44	743
		11.2	63.3	19.7	5.9	100.0
性別	男性	41	182	65	11	299
		13.7	60.9	21.7	3.7	100.0
	女性	41	276	77	25	419
		9.8	65.9	18.4	6.0	100.0
	その他、回答したくない	1	1	2	0	4
	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0	
不明・無回答		0	11	2	8	21
		0.0	52.4	9.5	38.1	100.0
年齢別	10歳代	5	6	2	0	13
		38.5	46.2	15.4	0.0	100.0
	20歳代	13	38	8	0	59
		22.0	64.4	13.6	0.0	100.0
	30歳代	18	60	21	1	100
		18.0	60.0	21.0	1.0	100.0
	40歳代	13	78	27	1	119
		10.9	65.5	22.7	0.8	100.0
	50歳代	10	85	25	4	124
		8.1	68.5	20.2	3.2	100.0
	60歳代	9	98	21	9	137
		6.6	71.5	15.3	6.6	100.0
	70歳以上	14	95	39	21	169
	8.3	56.2	23.1	12.4	100.0	
不明・無回答		1	10	3	8	22
		4.5	45.5	13.6	36.4	100.0

(6) アイヌの人々の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ 必要 な いは	無不 回答 ・	合計
市全体		42	389	262	50	743
		5.7	52.4	35.3	6.7	100.0
性別	男性	25	153	110	11	299
		8.4	51.2	36.8	3.7	100.0
	女性	16	228	146	29	419
		3.8	54.4	34.8	6.9	100.0
	その他、回答したくない	1	1	2	0	4
	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0	
不明・無回答		0	7	4	10	21
		0.0	33.3	19.0	47.6	100.0
年齢別	10歳代	3	7	3	0	13
		23.1	53.8	23.1	0.0	100.0
	20歳代	4	32	23	0	59
		6.8	54.2	39.0	0.0	100.0
	30歳代	6	41	52	1	100
		6.0	41.0	52.0	1.0	100.0
	40歳代	8	61	48	2	119
		6.7	51.3	40.3	1.7	100.0
	50歳代	4	75	40	5	124
		3.2	60.5	32.3	4.0	100.0
	60歳代	7	80	40	10	137
		5.1	58.4	29.2	7.3	100.0
	70歳以上	10	86	52	21	169
	5.9	50.9	30.8	12.4	100.0	
不明・無回答		0	7	4	11	22
		0.0	31.8	18.2	50.0	100.0

(7) 外国籍住民の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 な いは	無不 回 明 答・	合計
市全体		80	460	154	49	743
性別	男性	10.8	61.9	20.7	6.6	100.0
	女性	43	173	72	11	299
	その他、回答したくない	14.4	57.9	24.1	3.7	100.0
	不明・無回答	36	278	76	29	419
		8.6	66.3	18.1	6.9	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	0	8	4	9	21
	40歳代	0.0	38.1	19.0	42.9	100.0
	50歳代	5	7	1	0	13
	60歳代	38.5	53.8	7.7	0.0	100.0
	70歳以上	11	39	9	0	59
	不明・無回答	18.6	66.1	15.3	0.0	100.0
		19	56	24	1	100
		19.0	56.0	24.0	1.0	100.0

(8) ヘイトスピーチに関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 な いは	無不 回 明 答・	合計
市全体		113	413	161	56	743
性別	男性	15.2	55.6	21.7	7.5	100.0
	女性	61	158	69	11	299
	その他、回答したくない	20.4	52.8	23.1	3.7	100.0
	不明・無回答	51	246	87	35	419
		12.2	58.7	20.8	8.4	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	0	8	3	10	21
	40歳代	0.0	38.1	14.3	47.6	100.0
	50歳代	5	4	4	0	13
	60歳代	38.5	30.8	30.8	0.0	100.0
	70歳以上	7	33	19	0	59
	不明・無回答	11.9	55.9	32.2	0.0	100.0
		20	53	25	2	100
		20.0	53.0	25.0	2.0	100.0

(9) HIV感染者やハンセン病回復者などの人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 な いは	無不 回 明 答・	合計
市全体		96	494	104	49	743
性別	男性	12.9	66.5	14.0	6.6	100.0
	女性	50	186	52	11	299
	その他、回答したくない	16.7	62.2	17.4	3.7	100.0
	不明・無回答	44	299	47	29	419
		10.5	71.4	11.2	6.9	100.0
年齢別	10歳代	1	2	1	0	4
	20歳代	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	1	7	4	9	21
	40歳代	4.8	33.3	19.0	42.9	100.0
	50歳代	5	5	3	0	13
	60歳代	38.5	38.5	23.1	0.0	100.0
	70歳以上	12	40	7	0	59
	不明・無回答	20.3	67.8	11.9	0.0	100.0
		17	64	18	1	100
		17.0	64.0	18.0	1.0	100.0

(10) 刑を終えて出所した人の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 な いは	無不 回 明 答・	合計
市全体		70	466	162	45	743
性別	男性	9.4	62.7	21.8	6.1	100.0
	女性	36	180	73	10	299
	その他、回答したくない	12.0	60.2	24.4	3.3	100.0
	不明・無回答	31	279	84	25	419
		7.4	66.6	20.0	6.0	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	2	6	3	10	21
	40歳代	9.5	28.6	14.3	47.6	100.0
	50歳代	4	6	3	0	13
	60歳代	30.8	46.2	23.1	0.0	100.0
	70歳以上	8	25	26	0	59
	不明・無回答	13.6	42.4	44.1	0.0	100.0
		7	61	31	1	100
		7.0	61.0	31.0	1.0	100.0

(11) 犯罪被害者とその家族の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 な いは	無不 回 明 答・	合計
市全体		176	447	77	43	743
性別	男性	23.7	60.2	10.4	5.8	100.0
	女性	74	178	38	9	299
	その他、回答したくない	24.7	59.5	12.7	3.0	100.0
	不明・無回答	97	262	35	25	419
		23.2	62.5	8.4	6.0	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	4	6	2	9	21
	40歳代	19.0	28.6	9.5	42.9	100.0
	50歳代	5	7	1	0	13
	60歳代	38.5	53.8	7.7	0.0	100.0
	70歳以上	19	32	8	0	59
	不明・無回答	32.2	54.2	13.6	0.0	100.0
		27	57	15	1	100
		27.0	57.0	15.0	1.0	100.0

(12) インターネットによる人権侵害に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 な いは	無不 回 明 答・	合計
市全体		223	379	91	50	743
性別	男性	30.0	51.0	12.2	6.7	100.0
	女性	99	143	46	11	299
	その他、回答したくない	33.1	47.8	15.4	3.7	100.0
	不明・無回答	120	229	39	31	419
		28.6	54.7	9.3	7.4	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	3	6	4	8	21
	40歳代	14.3	28.6	19.0	38.1	100.0
	50歳代	9	3	1	0	13
	60歳代	69.2	23.1	7.7	0.0	100.0
	70歳以上	17	33	8	1	59
	不明・無回答	28.8	55.9	13.6	1.7	100.0
		32	56	11	1	100
		32.0	56.0	11.0	1.0	100.0

(13) 北朝鮮当局による拉致問題に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 不明 答・	合計
市全体		233	379	89	42	743
性別	男性	31.4	51.0	12.0	5.7	100.0
	女性	101	150	38	10	299
	その他、回答したくない	33.8	50.2	12.7	3.3	100.0
	不明・無回答	124	223	48	24	419
		29.6	53.2	11.5	5.7	100.0
年齢別	10歳代	2	1	1	0	4
	20歳代	50.0	25.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	6	5	2	8	21
	40歳代	28.6	23.8	9.5	38.1	100.0
	50歳代	3	9	1	0	13
	60歳代	23.1	69.2	7.7	0.0	100.0
	70歳以上	13	39	7	0	59
	不明・無回答	22.0	66.1	11.9	0.0	100.0
		17	63	19	1	100
		17.0	63.0	19.0	1.0	100.0

(14) ホームレスの人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 不明 答・	合計
市全体		95	445	160	43	743
性別	男性	12.8	59.9	21.5	5.8	100.0
	女性	46	165	75	13	299
	その他、回答したくない	15.4	55.2	25.1	4.3	100.0
	不明・無回答	45	274	79	21	419
		10.7	65.4	18.9	5.0	100.0
年齢別	10歳代	1	2	1	0	4
	20歳代	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	3	4	5	9	21
	40歳代	14.3	19.0	23.8	42.9	100.0
	50歳代	8	3	2	0	13
	60歳代	61.5	23.1	15.4	0.0	100.0
	70歳以上	12	34	13	0	59
	不明・無回答	20.3	57.6	22.0	0.0	100.0
		21	53	25	1	100
		21.0	53.0	25.0	1.0	100.0

(15) 性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 不明 答・	合計
市全体		72	432	184	55	743
性別	男性	9.7	58.1	24.8	7.4	100.0
	女性	36	167	82	14	299
	その他、回答したくない	12.0	55.9	27.4	4.7	100.0
	不明・無回答	33	257	97	32	419
		7.9	61.3	23.2	7.6	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	2	7	3	9	21
	40歳代	9.5	33.3	14.3	42.9	100.0
	50歳代	4	7	2	0	13
	60歳代	30.8	53.8	15.4	0.0	100.0
	70歳以上	10	35	14	0	59
	不明・無回答	16.9	59.3	23.7	0.0	100.0
		19	59	21	1	100
		19.0	59.0	21.0	1.0	100.0

(16) 性同一性障がいの人々の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 不明 答・	合計
市全体		79	429	181	54	743
性別	男性	10.6	57.7	24.4	7.3	100.0
	女性	39	163	81	16	299
	その他、回答したくない	13.0	54.5	27.1	5.4	100.0
	不明・無回答	39	258	94	28	419
		9.3	61.6	22.4	6.7	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	0	7	4	10	21
	40歳代	0.0	33.3	19.0	47.6	100.0
	50歳代	5	6	2	0	13
	60歳代	38.5	46.2	15.4	0.0	100.0
	70歳以上	11	40	8	0	59
	不明・無回答	18.6	67.8	13.6	0.0	100.0
		20	61	18	1	100
		20.0	61.0	18.0	1.0	100.0

(17) 性的搾取、強制労働など人身取引の問題に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 不明 答・	合計
市全体		163	439	94	47	743
性別	男性	21.9	59.1	12.7	6.3	100.0
	女性	82	166	41	10	299
	その他、回答したくない	27.4	55.5	13.7	3.3	100.0
	不明・無回答	78	263	50	28	419
		18.6	62.8	11.9	6.7	100.0
年齢別	10歳代	1	2	1	0	4
	20歳代	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
	30歳代	2	8	2	9	21
	40歳代	9.5	38.1	9.5	42.9	100.0
	50歳代	3	8	2	0	13
	60歳代	23.1	61.5	15.4	0.0	100.0
	70歳以上	12	42	5	0	59
	不明・無回答	20.3	71.2	8.5	0.0	100.0
		19	65	15	1	100
		19.0	65.0	15.0	1.0	100.0

(18) 東日本大震災に起因する人権問題に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 不明 答・	合計
市全体		176	436	88	43	743
性別	男性	23.7	58.7	11.8	5.8	100.0
	女性	67	179	43	10	299
	その他、回答したくない	22.4	59.9	14.4	3.3	100.0
	不明・無回答	104	248	42	25	419
		24.8	59.2	10.0	6.0	100.0
年齢別	10歳代	1	1	2	0	4
	20歳代	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
	30歳代	4	8	1	8	21
	40歳代	19.0	38.1	4.8	38.1	100.0
	50歳代	5	6	2	0	13
	60歳代	38.5	46.2	15.4	0.0	100.0
	70歳以上	16	33	10	0	59
	不明・無回答	27.1	55.9	16.9	0.0	100.0
		23	59	17	1	100
		23.0	59.0	17.0	1.0	100.0

(19) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み

		特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体		344	319	40	40	743
		46.3	42.9	5.4	5.4	100.0
性別	男性	133	134	23	9	299
		44.5	44.8	7.7	3.0	100.0
	女性	201	179	16	23	419
		48.0	42.7	3.8	5.5	100.0
	その他、回答したくない	3	1	0	0	4
	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	
年齢別	不明・無回答	7	5	1	8	21
		33.3	23.8	4.8	38.1	100.0
	10歳代	10	2	1	0	13
		76.9	15.4	7.7	0.0	100.0
	20歳代	27	28	4	0	59
		45.8	47.5	6.8	0.0	100.0
	30歳代	50	47	2	1	100
		50.0	47.0	2.0	1.0	100.0
	40歳代	59	53	6	1	119
		49.6	44.5	5.0	0.8	100.0
50歳代	52	66	5	1	124	
	41.9	53.2	4.0	0.8	100.0	
60歳代	62	55	11	9	137	
	45.3	40.1	8.0	6.6	100.0	
70歳以上	76	63	11	19	169	
	45.0	37.3	6.5	11.2	100.0	
不明・無回答	8	5	0	9	22	
	36.4	22.7	0.0	40.9	100.0	

職業別でみると、「特に必要」「必要」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」では『(2)こどもの人権に関する取組み』で92.6%、「民間正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』であり、数値は各々96.4%、91.5%となっており、「公務員、教員」では『(19)個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み』が95.8%、「非正規雇用」では『(2)こどもの人権に関する取組み』と『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』で、ともに92.9%となっている。

一方で「必要とは思わない」と答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』であり、数値は各々30.9%、42.0%、36.2%、32.1%となっており、「公務員、教員」では『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』と『(10)刑を終えて出所した人の人権に関する取組み』で、ともに37.5%となっている。【表5 - 3 - 3】

【表5-3-3 職業別 個別の人権問題に関する市の取組みの必要性】

(1) 女性の人権に関する取組み

	(上段:人, 下段:%)				
	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	124	514	67	38	743
	16.7	69.2	9.0	5.1	100.0
自営業	10	60	5	6	81
	12.3	74.1	6.2	7.4	100.0
民間正規雇用	46	122	23	2	193
	23.8	63.2	11.9	1.0	100.0
公務員、教員	4	16	4	0	24
	16.7	66.7	16.7	0.0	100.0
非正規雇用	15	99	9	4	127
	11.8	78.0	7.1	3.1	100.0
家事専業、学生、無職	48	211	25	21	305
	15.7	69.2	8.2	6.9	100.0
不明・無回答	1	6	1	5	13
	7.7	46.2	7.7	38.5	100.0

(2) こどもの人権に関する取組み

	(上段:人, 下段:%)				
	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	247	429	36	31	743
	33.2	57.7	4.8	4.2	100.0
自営業	29	46	2	4	81
	35.8	56.8	2.5	4.9	100.0
民間正規雇用	80	100	11	2	193
	41.5	51.8	5.7	1.0	100.0
公務員、教員	7	15	2	0	24
	29.2	62.5	8.3	0.0	100.0
非正規雇用	34	84	6	3	127
	26.8	66.1	4.7	2.4	100.0
家事専業、学生、無職	95	177	15	18	305
	31.1	58.0	4.9	5.9	100.0
不明・無回答	2	7	0	4	13
	15.4	53.8	0.0	30.8	100.0

(3) 高齢者の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
	市全体	197	455	61	30
	26.5	61.2	8.2	4.0	100.0
自営業	15	53	7	6	81
	18.5	65.4	8.6	7.4	100.0
民間正規雇用	52	115	24	2	193
	26.9	59.6	12.4	1.0	100.0
公務員、教員	5	16	3	0	24
	20.8	66.7	12.5	0.0	100.0
非正規雇用	28	88	7	4	127
	22.0	69.3	5.5	3.1	100.0
家事専業、学生、無職	94	177	20	14	305
	30.8	58.0	6.6	4.6	100.0
不明・無回答	3	6	0	4	13
	23.1	46.2	0.0	30.8	100.0

(4) 障がいのある人の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
	市全体	210	478	26	29
	28.3	64.3	3.5	3.9	100.0
自営業	23	51	2	5	81
	28.4	63.0	2.5	6.2	100.0
民間正規雇用	55	131	5	2	193
	28.5	67.9	2.6	1.0	100.0
公務員、教員	7	15	2	0	24
	29.2	62.5	8.3	0.0	100.0
非正規雇用	33	85	5	4	127
	26.0	66.9	3.9	3.1	100.0
家事専業、学生、無職	91	188	12	14	305
	29.8	61.6	3.9	4.6	100.0
不明・無回答	1	8	0	4	13
	7.7	61.5	0.0	30.8	100.0

(5) 同和問題に関する人権の取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
	市全体	83	470	146	44
	11.2	63.3	19.7	5.9	100.0
自営業	9	58	9	5	81
	11.1	71.6	11.1	6.2	100.0
民間正規雇用	26	124	39	4	193
	13.5	64.2	20.2	2.1	100.0
公務員、教員	7	10	7	0	24
	29.2	41.7	29.2	0.0	100.0
非正規雇用	13	86	22	6	127
	10.2	67.7	17.3	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	28	186	67	24	305
	9.2	61.0	22.0	7.9	100.0
不明・無回答	0	6	2	5	13
	0.0	46.2	15.4	38.5	100.0

(6) アイヌの人々の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
	市全体	42	389	262	50
	5.7	52.4	35.3	6.7	100.0
自営業	5	44	25	7	81
	6.2	54.3	30.9	8.6	100.0
民間正規雇用	11	97	81	4	193
	5.7	50.3	42.0	2.1	100.0
公務員、教員	1	14	9	0	24
	4.2	58.3	37.5	0.0	100.0
非正規雇用	8	67	46	6	127
	6.3	52.8	36.2	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	17	162	98	28	305
	5.6	53.1	32.1	9.2	100.0
不明・無回答	0	5	3	5	13
	0.0	38.5	23.1	38.5	100.0

(7) 外国籍住民の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	80	460	154	49	743
	10.8	61.9	20.7	6.6	100.0
自営業	9	53	14	5	81
	11.1	65.4	17.3	6.2	100.0
民間正規雇用	26	121	41	5	193
	13.5	62.7	21.2	2.6	100.0
公務員、教員	5	15	4	0	24
	20.8	62.5	16.7	0.0	100.0
非正規雇用	13	85	23	6	127
	10.2	66.9	18.1	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	27	180	70	28	305
	8.9	59.0	23.0	9.2	100.0
不明・無回答	0	6	2	5	13
	0.0	46.2	15.4	38.5	100.0

(8) ヘイトスピーチに関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	113	413	161	56	743
	15.2	55.6	21.7	7.5	100.0
自営業	17	47	11	6	81
	21.0	58.0	13.6	7.4	100.0
民間正規雇用	31	115	43	4	193
	16.1	59.6	22.3	2.1	100.0
公務員、教員	6	13	5	0	24
	25.0	54.2	20.8	0.0	100.0
非正規雇用	18	76	26	7	127
	14.2	59.8	20.5	5.5	100.0
家事専業、学生、無職	41	157	73	34	305
	13.4	51.5	23.9	11.1	100.0
不明・無回答	0	5	3	5	13
	0.0	38.5	23.1	38.5	100.0

(9) HIV感染者やハンセン病回復者などの人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	96	494	104	49	743
	12.9	66.5	14.0	6.6	100.0
自営業	11	57	7	6	81
	13.6	70.4	8.6	7.4	100.0
民間正規雇用	24	135	30	4	193
	12.4	69.9	15.5	2.1	100.0
公務員、教員	4	16	4	0	24
	16.7	66.7	16.7	0.0	100.0
非正規雇用	17	94	10	6	127
	13.4	74.0	7.9	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	39	188	50	28	305
	12.8	61.6	16.4	9.2	100.0
不明・無回答	1	4	3	5	13
	7.7	30.8	23.1	38.5	100.0

(10) 刑を終えて出所した人の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	70	466	162	45	743
	9.4	62.7	21.8	6.1	100.0
自営業	10	50	15	6	81
	12.3	61.7	18.5	7.4	100.0
民間正規雇用	17	116	58	2	193
	8.8	60.1	30.1	1.0	100.0
公務員、教員	2	13	9	0	24
	8.3	54.2	37.5	0.0	100.0
非正規雇用	10	85	26	6	127
	7.9	66.9	20.5	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	30	198	52	25	305
	9.8	64.9	17.0	8.2	100.0
不明・無回答	1	4	2	6	13
	7.7	30.8	15.4	46.2	100.0

(11) 犯罪被害者とその家族の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	176	447	77	43	743
	23.7	60.2	10.4	5.8	100.0
自営業	21	49	5	6	81
	25.9	60.5	6.2	7.4	100.0
民間正規雇用	50	120	21	2	193
	25.9	62.2	10.9	1.0	100.0
公務員、教員	5	16	3	0	24
	20.8	66.7	12.5	0.0	100.0
非正規雇用	30	77	14	6	127
	23.6	60.6	11.0	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	68	181	32	24	305
	22.3	59.3	10.5	7.9	100.0
不明・無回答	2	4	2	5	13
	15.4	30.8	15.4	38.5	100.0

(12) インターネットによる人権侵害に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	223	379	91	50	743
	30.0	51.0	12.2	6.7	100.0
自営業	30	38	8	5	81
	37.0	46.9	9.9	6.2	100.0
民間正規雇用	60	110	20	3	193
	31.1	57.0	10.4	1.6	100.0
公務員、教員	8	12	4	0	24
	33.3	50.0	16.7	0.0	100.0
非正規雇用	29	78	13	7	127
	22.8	61.4	10.2	5.5	100.0
家事専業、学生、無職	95	136	43	31	305
	31.1	44.6	14.1	10.2	100.0
不明・無回答	1	5	3	4	13
	7.7	38.5	23.1	30.8	100.0

(13) 北朝鮮当局による拉致問題に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	233	379	89	42	743
	31.4	51.0	12.0	5.7	100.0
自営業	29	40	8	4	81
	35.8	49.4	9.9	4.9	100.0
民間正規雇用	45	121	24	3	193
	23.3	62.7	12.4	1.6	100.0
公務員、教員	5	13	6	0	24
	20.8	54.2	25.0	0.0	100.0
非正規雇用	40	68	14	5	127
	31.5	53.5	11.0	3.9	100.0
家事専業、学生、無職	111	132	36	26	305
	36.4	43.3	11.8	8.5	100.0
不明・無回答	3	5	1	4	13
	23.1	38.5	7.7	30.8	100.0

(14) ホームレスの人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	95	445	160	43	743
	12.8	59.9	21.5	5.8	100.0
自営業	10	52	13	6	81
	12.3	64.2	16.0	7.4	100.0
民間正規雇用	27	117	47	2	193
	14.0	60.6	24.4	1.0	100.0
公務員、教員	5	15	4	0	24
	20.8	62.5	16.7	0.0	100.0
非正規雇用	15	76	32	4	127
	11.8	59.8	25.2	3.1	100.0
家事専業、学生、無職	37	181	61	26	305
	12.1	59.3	20.0	8.5	100.0
不明・無回答	1	4	3	5	13
	7.7	30.8	23.1	38.5	100.0

(15) 性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	72	432	184	55	743
	9.7	58.1	24.8	7.4	100.0
自営業	8	51	16	6	81
	9.9	63.0	19.8	7.4	100.0
民間正規雇用	26	115	49	3	193
	13.5	59.6	25.4	1.6	100.0
公務員、教員	1	16	7	0	24
	4.2	66.7	29.2	0.0	100.0
非正規雇用	12	78	31	6	127
	9.4	61.4	24.4	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	24	168	78	35	305
	7.9	55.1	25.6	11.5	100.0
不明・無回答	1	4	3	5	13
	7.7	30.8	23.1	38.5	100.0

(16) 性同一性障がいの人々の人権に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	79	429	181	54	743
	10.6	57.7	24.4	7.3	100.0
自営業	10	49	16	6	81
	12.3	60.5	19.8	7.4	100.0
民間正規雇用	26	117	47	3	193
	13.5	60.6	24.4	1.6	100.0
公務員、教員	1	16	7	0	24
	4.2	66.7	29.2	0.0	100.0
非正規雇用	12	83	25	7	127
	9.4	65.4	19.7	5.5	100.0
家事専業、学生、無職	30	160	82	33	305
	9.8	52.5	26.9	10.8	100.0
不明・無回答	0	4	4	5	13
	0.0	30.8	30.8	38.5	100.0

(17) 性的搾取、強制労働など人身取引の問題に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	163	439	94	47	743
	21.9	59.1	12.7	6.3	100.0
自営業	20	47	8	6	81
	24.7	58.0	9.9	7.4	100.0
民間正規雇用	45	123	23	2	193
	23.3	63.7	11.9	1.0	100.0
公務員、教員	2	17	5	0	24
	8.3	70.8	20.8	0.0	100.0
非正規雇用	28	78	15	6	127
	22.0	61.4	11.8	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	67	167	42	29	305
	22.0	54.8	13.8	9.5	100.0
不明・無回答	1	7	1	4	13
	7.7	53.8	7.7	30.8	100.0

(18) 東日本大震災に起因する人権問題に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	176	436	88	43	743
	23.7	58.7	11.8	5.8	100.0
自営業	21	48	7	5	81
	25.9	59.3	8.6	6.2	100.0
民間正規雇用	35	133	22	3	193
	18.1	68.9	11.4	1.6	100.0
公務員、教員	3	15	6	0	24
	12.5	62.5	25.0	0.0	100.0
非正規雇用	21	88	12	6	127
	16.5	69.3	9.4	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	94	146	40	25	305
	30.8	47.9	13.1	8.2	100.0
不明・無回答	2	6	1	4	13
	15.4	46.2	7.7	30.8	100.0

(19) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み

	特に必要	必要	必要とは思わない	不明・無回答	合計
市全体	344	319	40	40	743
	46.3	42.9	5.4	5.4	100.0
自営業	39	34	3	5	81
	48.1	42.0	3.7	6.2	100.0
民間正規雇用	87	95	9	2	193
	45.1	49.2	4.7	1.0	100.0
公務員、教員	9	14	1	0	24
	37.5	58.3	4.2	0.0	100.0
非正規雇用	60	56	5	6	127
	47.2	44.1	3.9	4.7	100.0
家事専業、学生、無職	145	116	21	23	305
	47.5	38.0	6.9	7.5	100.0
不明・無回答	4	4	1	4	13
	30.8	30.8	7.7	30.8	100.0

学歴別でみると、「特に必要」「必要」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「中学卒」では『(2)こどもの人権に関する取組み』で87.0%、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では『(4)障がいのある人の人権に関する取組み』であり数値は各々92.4%、96.1%、95.5%となっている。

一方で「必要とは思わない」と答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で『(6)アイヌの人々の人権に関する取組み』であり、「中学卒」が34.0%、「高校卒」が32.2%、「短大卒」が33.1%、「大学卒」が43.0%となっている。【表5 - 3 - 4】

【表5-3-4 学歴別 個別の人権問題に関する市の取組みの必要性】

(1) 女性の人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		124	514	67	38	743
		16.7	69.2	9.0	5.1	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	14	67	10	9	100
		14.0	67.0	10.0	9.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	38	187	26	13	264
		14.4	70.8	9.8	4.9	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	24	115	11	4	154
		15.6	74.7	7.1	2.6	100.0
	4.大学、大学院	45	133	16	6	200
	22.5	66.5	8.0	3.0	100.0	
5.その他	1	6	2	0	9	
	11.1	66.7	22.2	0.0	100.0	
不明・無回答	2	6	2	6	16	
	12.5	37.5	12.5	37.5	100.0	

(2) こどもの人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		247	429	36	31	743
		33.2	57.7	4.8	4.2	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	24	63	6	7	100
		24.0	63.0	6.0	7.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	86	153	15	10	264
		32.6	58.0	5.7	3.8	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	55	91	5	3	154
		35.7	59.1	3.2	1.9	100.0
	4.大学、大学院	76	109	9	6	200
	38.0	54.5	4.5	3.0	100.0	
5.その他	2	6	1	0	9	
	22.2	66.7	11.1	0.0	100.0	
不明・無回答	4	7	0	5	16	
	25.0	43.8	0.0	31.3	100.0	

(3) 高齢者の人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		197	455	61	30	743
		26.5	61.2	8.2	4.0	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	23	60	11	6	100
		23.0	60.0	11.0	6.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	74	160	19	11	264
		28.0	60.6	7.2	4.2	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	44	100	7	3	154
		28.6	64.9	4.5	1.9	100.0
	4.大学、大学院	50	126	19	5	200
	25.0	63.0	9.5	2.5	100.0	
5.その他	1	3	5	0	9	
	11.1	33.3	55.6	0.0	100.0	
不明・無回答	5	6	0	5	16	
	31.3	37.5	0.0	31.3	100.0	

(4) 障がいのある人の人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		210	478	26	29	743
		28.3	64.3	3.5	3.9	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	27	59	7	7	100
		27.0	59.0	7.0	7.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	78	166	10	10	264
		29.5	62.9	3.8	3.8	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	46	102	4	2	154
		29.9	66.2	2.6	1.3	100.0
	4.大学、大学院	55	136	4	5	200
	27.5	68.0	2.0	2.5	100.0	
5.その他	2	6	1	0	9	
	22.2	66.7	11.1	0.0	100.0	
不明・無回答	2	9	0	5	16	
	12.5	56.3	0.0	31.3	100.0	

(5) 同和問題に関する人権の取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		83	470	146	44	743
		11.2	63.3	19.7	5.9	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	5	60	25	10	100
		5.0	60.0	25.0	10.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	32	162	53	17	264
		12.1	61.4	20.1	6.4	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	12	116	22	4	154
		7.8	75.3	14.3	2.6	100.0
	4.大学、大学院	34	121	38	7	200
	17.0	60.5	19.0	3.5	100.0	
5.その他	0	6	3	0	9	
	0.0	66.7	33.3	0.0	100.0	
不明・無回答	0	5	5	6	16	
	0.0	31.3	31.3	37.5	100.0	

(6) アイヌの人々の人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		42	389	262	50	743
		5.7	52.4	35.3	6.7	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	5	49	34	12	100
		5.0	49.0	34.0	12.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	25	136	85	18	264
		9.5	51.5	32.2	6.8	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	5	93	51	5	154
		3.2	60.4	33.1	3.2	100.0
	4.大学、大学院	7	100	86	7	200
	3.5	50.0	43.0	3.5	100.0	
5.その他	0	6	2	1	9	
	0.0	66.7	22.2	11.1	100.0	
不明・無回答	0	5	4	7	16	
	0.0	31.3	25.0	43.8	100.0	

(7) 外国籍住民の人権に関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		80	460	154	49	743
		10.8	61.9	20.7	6.6	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	8	53	28	11	100
		8.0	53.0	28.0	11.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	29	163	53	19	264
		11.0	61.7	20.1	7.2	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	15	108	26	5	154
		9.7	70.1	16.9	3.2	100.0
	4.大学、大学院	27	125	41	7	200
	13.5	62.5	20.5	3.5	100.0	
5.その他	0	7	2	0	9	
	0.0	77.8	22.2	0.0	100.0	
不明・無回答	1	4	4	7	16	
	6.3	25.0	25.0	43.8	100.0	

(8) ヘイトスピーチに関する取組み

		(上段:人, 下段:%)				
		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 明答・	合計
市全体		113	413	161	56	743
		15.2	55.6	21.7	7.5	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	9	51	27	13	100
		9.0	51.0	27.0	13.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	42	147	53	22	264
		15.9	55.7	20.1	8.3	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	16	100	31	7	154
		10.4	64.9	20.1	4.5	100.0
	4.大学、大学院	43	109	42	6	200
	21.5	54.5	21.0	3.0	100.0	
5.その他	2	3	3	1	9	
	22.2	33.3	33.3	11.1	100.0	
不明・無回答	1	3	5	7	16	
	6.3	18.8	31.3	43.8	100.0	

(9) HIV感染者やハンセン病回復者などの人権に関する取組み (10) 刑を終えて出所した人の人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計	特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計
市全体		96	494	104	49	743	70	466	162	45	743
		12.9	66.5	14.0	6.6	100.0	9.4	62.7	21.8	6.1	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	11	59	17	13	100	10	59	20	11	100
		11.0	59.0	17.0	13.0	100.0	10.0	59.0	20.0	11.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	40	173	34	17	264	26	177	44	17	264
		15.2	65.5	12.9	6.4	100.0	9.8	67.0	16.7	6.4	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	17	109	22	6	154	16	92	42	4	154
		11.0	70.8	14.3	3.9	100.0	10.4	59.7	27.3	2.6	100.0
	4.大学、大学院	23	143	27	7	200	16	128	50	6	200
	11.5	71.5	13.5	3.5	100.0	8.0	64.0	25.0	3.0	100.0	
5.その他	4	4	1	0	9	0	5	4	0	9	
	44.4	44.4	11.1	0.0	100.0	0.0	55.6	44.4	0.0	100.0	
不明・無回答	1	6	3	6	16	2	5	2	7	16	
	6.3	37.5	18.8	37.5	100.0	12.5	31.3	12.5	43.8	100.0	

(11) 犯罪被害者とその家族の人権に関する取組み

(12) インターネットによる人権侵害に
関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計	特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計
市全体		176	447	77	43	743	223	379	91	50	743
		23.7	60.2	10.4	5.8	100.0	30.0	51.0	12.2	6.7	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	17	61	11	11	100	24	41	23	12	100
		17.0	61.0	11.0	11.0	100.0	24.0	41.0	23.0	12.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	63	158	27	16	264	82	127	35	20	264
		23.9	59.8	10.2	6.1	100.0	31.1	48.1	13.3	7.6	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	42	93	15	4	154	49	91	8	6	154
		27.3	60.4	9.7	2.6	100.0	31.8	59.1	5.2	3.9	100.0
	4.大学、大学院	47	126	21	6	200	66	109	20	5	200
	23.5	63.0	10.5	3.0	100.0	33.0	54.5	10.0	2.5	100.0	
5.その他	3	5	1	0	9	1	5	2	1	9	
	33.3	55.6	11.1	0.0	100.0	11.1	55.6	22.2	11.1	100.0	
不明・無回答	4	4	2	6	16	1	6	3	6	16	
	25.0	25.0	12.5	37.5	100.0	6.3	37.5	18.8	37.5	100.0	

(13) 北朝鮮当局による拉致問題に関する取組み

(14) ホームレスの人権に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計	特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計
市全体		233	379	89	42	743	95	445	160	43	743
		31.4	51.0	12.0	5.7	100.0	12.8	59.9	21.5	5.8	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	39	38	11	12	100	10	50	29	11	100
		39.0	38.0	11.0	12.0	100.0	10.0	50.0	29.0	11.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	93	132	26	13	264	31	163	56	14	264
		35.2	50.0	9.8	4.9	100.0	11.7	61.7	21.2	5.3	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	44	87	17	6	154	17	104	28	5	154
		28.6	56.5	11.0	3.9	100.0	11.0	67.5	18.2	3.2	100.0
	4.大学、大学院	50	111	33	6	200	35	119	39	7	200
	25.0	55.5	16.5	3.0	100.0	17.5	59.5	19.5	3.5	100.0	
5.その他	2	6	1	0	9	0	6	3	0	9	
	22.2	66.7	11.1	0.0	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	100.0	
不明・無回答	5	5	1	5	16	2	3	5	6	16	
	31.3	31.3	6.3	31.3	100.0	12.5	18.8	31.3	37.5	100.0	

(15) 性的指向が少数派の人々の人権に関する取組み

(16) 性同一性障がいの人々の人権に
関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計	特に必要	必要	思わ要 なといは	無不明 答・	合計
市全体		72	432	184	55	743	79	429	181	54	743
		9.7	58.1	24.8	7.4	100.0	10.6	57.7	24.4	7.3	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	4	52	27	17	100	6	49	29	16	100
		4.0	52.0	27.0	17.0	100.0	6.0	49.0	29.0	16.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	26	149	69	20	264	32	144	68	20	264
		9.8	56.4	26.1	7.6	100.0	12.1	54.5	25.8	7.6	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	14	98	36	6	154	15	101	33	5	154
		9.1	63.6	23.4	3.9	100.0	9.7	65.6	21.4	3.2	100.0
	4.大学、大学院	25	123	46	6	200	25	126	43	6	200
	12.5	61.5	23.0	3.0	100.0	12.5	63.0	21.5	3.0	100.0	
5.その他	1	5	3	0	9	1	4	4	0	9	
	11.1	55.6	33.3	0.0	100.0	11.1	44.4	44.4	0.0	100.0	
不明・無回答	2	5	3	6	16	0	5	4	7	16	
	12.5	31.3	18.8	37.5	100.0	0.0	31.3	25.0	43.8	100.0	

(17) 性的搾取、強制労働など人身取引の問題に関する取組み (18) 東日本大震災に起因する人権問題に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 回明 答・	合計	特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 回明 答・	合計
市全体		163	439	94	47	743	176	436	88	43	743
		21.9	59.1	12.7	6.3	100.0	23.7	58.7	11.8	5.8	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	24	47	17	12	100	25	56	10	9	100
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	24.0	47.0	17.0	12.0	100.0	25.0	56.0	10.0	9.0	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	68	144	34	18	264	72	146	30	16	264
		25.8	54.5	12.9	6.8	100.0	27.3	55.3	11.4	6.1	100.0
	4.大学、大学院	25	105	18	6	154	35	100	12	7	154
		16.2	68.2	11.7	3.9	100.0	22.7	64.9	7.8	4.5	100.0
	5.その他	41	131	22	6	200	40	124	30	6	200
		20.5	65.5	11.0	3.0	100.0	20.0	62.0	15.0	3.0	100.0
不明・無回答	2	6	1	0	9	1	4	4	0	9	
	22.2	66.7	11.1	0.0	100.0	11.1	44.4	44.4	0.0	100.0	
	3	6	2	5	16	3	6	2	5	16	
	18.8	37.5	12.5	31.3	100.0	18.8	37.5	12.5	31.3	100.0	

(19) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組み

		特に必要	必要	思わ要 なといは	無不 回明 答・	合計
市全体		344	319	40	40	743
		46.3	42.9	5.4	5.4	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	45	38	8	9	100
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	45.0	38.0	8.0	9.0	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	120	116	13	15	264
		45.5	43.9	4.9	5.7	100.0
	4.大学、大学院	74	69	5	6	154
		48.1	44.8	3.2	3.9	100.0
	5.その他	98	86	11	5	200
		49.0	43.0	5.5	2.5	100.0
不明・無回答	4	4	1	0	9	
	44.4	44.4	11.1	0.0	100.0	
	3	6	2	5	16	
	18.8	37.5	12.5	31.3	100.0	

5 - 4 . 多文化共生についての意識の現状

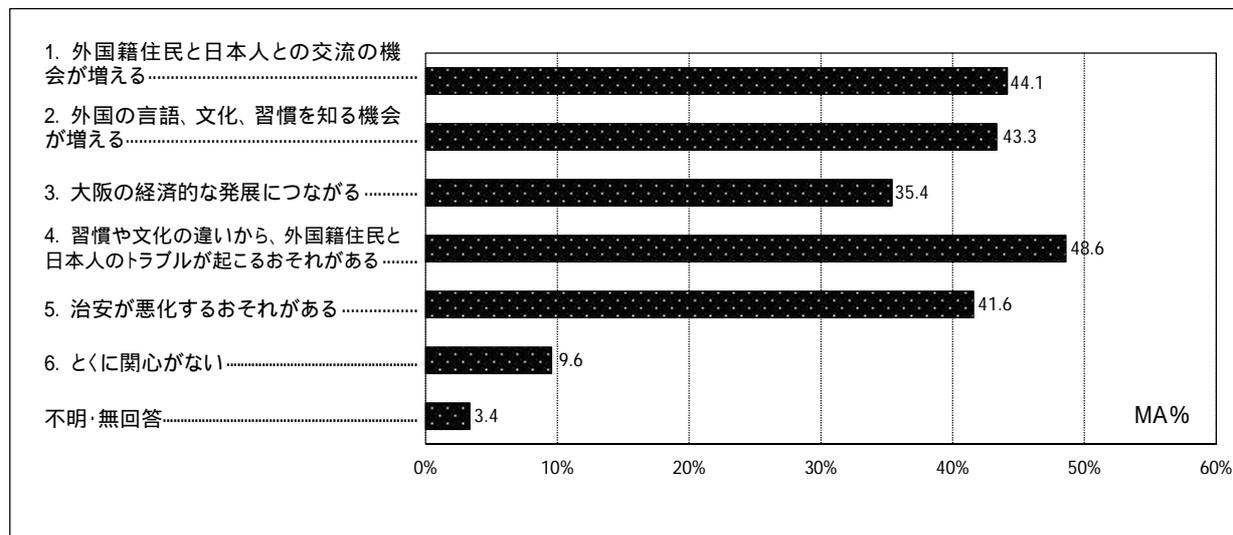
(1) 外国籍住民の増加についての意識

問 1 6 日本社会全体において、また大阪市においても同様に外国籍住民が多くなっています。あなたは、このことについてどう思いますか。(はいくつでも)

【表 5 - 4 - 1 - 1 外国籍住民の増加についての意識】

	(上段:人、下段:MA%)							合計
	外国籍住民と日本人との交流の機会が増える	外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える	大阪の経済的な発展につながる	習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある	治安が悪化するおそれがある	とくに関心がない	不明・無回答	
市全体	328 44.1	322 43.3	263 35.4	361 48.6	309 41.6	71 9.6	25 3.4	743 100.0

【図 5 - 4 - 1 外国籍住民の増加についての意識】



外国籍住民の増加について尋ねたところ、「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」と答えた人の割合が48.6%と最も高く、次いで「1.外国籍住民と日本人との交流の機会が増える」が44.1%、「2.外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える」が43.3%となっている。

性別でみると、男性では「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」が53.8%と最も高く、次いで「5.治安が悪化するおそれがある」が44.5%、「1.外国籍住民と日本人との交流の機会が増える」が43.8%となっている。

女性では「2.外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える」が47.0%と最も高く、次いで「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」が46.1%、「1.外国籍住民と日本人との交流の機会が増える」が45.1%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代、20歳代、30歳代では「1.外国籍住民と日本人との交流の機会が増える」であり、数値は各々69.2%、55.9%、55.0%となっており、40歳代では「1.外国籍住民と日本人との交流の機会が増える」と「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」で、ともに52.9%となっており、50歳代、60歳代、70歳以上では「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」であり、各々58.1%、46.7%、48.5%となっている。【表5 - 4 - 1 - 2】

【表5 - 4 - 1 - 2 性別・年齢別 外国籍住民の増加についての意識】

(上段:人、下段:MA%)

		外国籍住民と日本人との交流の機会が増える	外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える	大阪の経済的な発展につながる	それと日本人のトラブルが起こるおそれがある	治安が悪化するおそれがある	とくに關心がない	不明・無回答	合計
市全体		328 44.1	322 43.3	263 35.4	361 48.6	309 41.6	71 9.6	25 3.4	743 100.0
性別	男性	131 43.8	120 40.1	113 37.8	161 53.8	133 44.5	21 7.0	5 1.7	299 100.0
	女性	189 45.1	197 47.0	143 34.1	193 46.1	168 40.1	44 10.5	14 3.3	419 100.0
	その他、回答したくない	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0
	不明・無回答	7 33.3	5 23.8	7 33.3	6 28.6	7 33.3	4 19.0	6 28.6	21 100.0
	不明・無回答	9 69.2	6 46.2	5 38.5	5 38.5	3 23.1	1 7.7	0 0.0	13 100.0
年齢別	10歳代	33 55.9	28 47.5	24 40.7	26 44.1	21 35.6	4 6.8	1 1.7	59 100.0
	20歳代	55 55.0	52 52.0	36 36.0	44 44.0	47 47.0	8 8.0	2 2.0	100 100.0
	30歳代	63 52.9	54 45.4	46 38.7	63 52.9	57 47.9	3 2.5	1 0.8	119 100.0
	40歳代	35 28.2	47 37.9	40 32.3	72 58.1	64 51.6	9 7.3	2 1.6	124 100.0
	50歳代	61 44.5	63 46.0	46 33.6	64 46.7	49 35.8	19 13.9	1 0.7	137 100.0
	60歳代	64 37.9	68 40.2	59 34.9	82 48.5	62 36.7	24 14.2	12 7.1	169 100.0
	70歳以上	8 36.4	4 18.2	7 31.8	5 22.7	6 27.3	3 13.6	6 27.3	22 100.0
	不明・無回答	8 36.4	4 18.2	7 31.8	5 22.7	6 27.3	3 13.6	6 27.3	22 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「家事専業、学生、無職」では「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」であり、数値は各々54.3%、58.3%、48.9%となっており、「民間正規雇用」では「5.治安が悪化するおそれがある」で48.7%、「非正規雇用」では「2.外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える」が50.4%となっている。【表5 - 4 - 1 - 3】

【表5 - 4 - 1 - 3 職業別 外国籍住民の増加についての意識】

(上段:人、下段:MA%)

	外国籍住民と日本人との交流の機会が増える	外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える	大阪の経済的な発展につながる	それと日本人のトラブルが起こるおそれがある	習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある	治安が悪化するおそれがある	とくに関心がない	不明・無回答	合計
市全体	328 44.1	322 43.3	263 35.4	361 48.6	309 41.6	71 9.6	25 3.4	743 100.0	
自営業	30 37.0	34 42.0	32 39.5	44 54.3	37 45.7	5 6.2	3 3.7	81 100.0	
民間正規雇用	92 47.7	80 41.5	66 34.2	93 48.2	94 48.7	12 6.2	0 0.0	193 100.0	
公務員、教員	8 33.3	10 41.7	13 54.2	14 58.3	11 45.8	1 4.2	0 0.0	24 100.0	
非正規雇用	55 43.3	64 50.4	45 35.4	58 45.7	50 39.4	13 10.2	4 3.1	127 100.0	
家事専業、学生、無職	140 45.9	131 43.0	104 34.1	149 48.9	114 37.4	38 12.5	13 4.3	305 100.0	
不明・無回答	3 23.1	3 23.1	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	5 38.5	13 100.0	

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」「短大卒」では「4.習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある」であり、数値は各々43.0%、47.7%、56.5%となっており、「大学卒」では「1.外国籍住民と日本人との交流の機会が増える」で55.0%となっている。【表5 - 4 - 1 - 4】

【表5 - 4 - 1 - 4 学歴別 外国籍住民の増加についての意識】

(上段:人、下段:MA%)

	外国籍住民と日本人との交流の機会が増える	外国の言語、文化、習慣を知る機会が増える	大阪の経済的な発展につながる	それと日本人のトラブルが起こるおそれがある	習慣や文化の違いから、外国籍住民と日本人のトラブルが起こるおそれがある	治安が悪化するおそれがある	とくに関心がない	不明・無回答	合計
市全体	328 44.1	322 43.3	263 35.4	361 48.6	309 41.6	71 9.6	25 3.4	743 100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	31 31.0	32 32.0	32 32.0	43 43.0	34 34.0	20 20.0	7 7.0	100 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	109 41.3	111 42.0	81 30.7	126 47.7	111 42.0	30 11.4	6 2.3	264 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	69 44.8	82 53.2	56 36.4	87 56.5	72 46.8	7 4.5	2 1.3	154 100.0
	4.大学、大学院	110 55.0	91 45.5	87 43.5	97 48.5	87 43.5	11 5.5	3 1.5	200 100.0
	5.その他	5 55.6	3 33.3	5 55.6	4 44.4	4 33.3	3 11.1	1 0.0	9 100.0
	不明・無回答	4 25.0	3 18.8	2 12.5	2 25.0	2 12.5	2 12.5	2 43.8	16 100.0

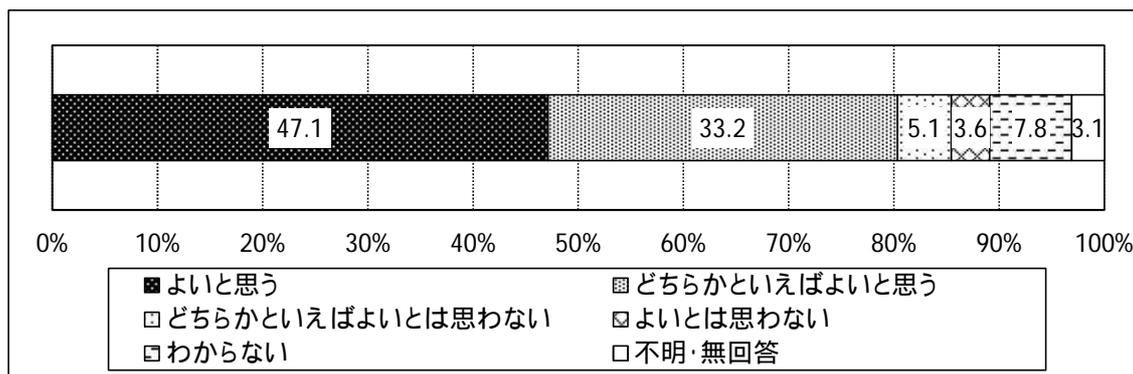
(2) 外国籍住民との共生

問17 あなたは、「日本人と外国籍住民がともに理解を深めながら、みんなで住みやすいまちをつくっていこう」という考え方について、どう思いますか。(は1つ)

【表5-4-2-1 外国籍住民との共生】

	(上段:人、下段:%)						
	よいと思う	どちらかといえばよいと思う	どちらかと思わない	よいとは思わない	わからない	不明・無回答	合計
市全体	350 47.1	247 33.2	38 5.1	27 3.6	58 7.8	23 3.1	743 100.0

【図5-4-2 外国籍住民との共生】



日本人と外国籍住民がともに理解を深め、共生するという考え方について尋ねたところ、「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」と答えた人の合計の割合は 80.3%、「よいとは思わない」「どちらかといえばよいとは思わない」と答えた人の合計の割合は 8.7%となっている。

性別でみると、「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」と答えた人の合計の割合は、男性 79.9%、女性 82.6%となっているのに対し、「よいとは思わない」「どちらかといえばよいとは思わない」と答えた人の合計の割合は、男性が 11.0%、女性が 7.2%となっている。

年齢別でみると、「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」と答えた人の合計の割合は、10歳代が 100.0%と最も高く、次いで 20歳代が 86.4%、40歳代が 84.9%となっている。

一方、「よいとは思わない」「どちらかといえばよいとは思わない」と答えた人の合計の割合は、40歳代が 10.1%と最も高くなっている。【表5-4-2-2】

【表5 - 4 - 2 - 2 性別・年齢別 外国籍住民との共生】

(上段:人、下段:%)

		よいと思う	いどちらかといえよ	いどちらかといえよ	よいとは思わない	わからない	不明・無回答	合計
市全体		350	247	38	27	58	23	743
		47.1	33.2	5.1	3.6	7.8	3.1	100.0
性別	男性	150	89	19	14	21	6	299
		50.2	29.8	6.4	4.7	7.0	2.0	100.0
	女性	194	152	18	12	30	13	419
		46.3	36.3	4.3	2.9	7.2	3.1	100.0
	その他、回答したくない	1	0	0	0	3	0	4
	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	100.0	
不明・無回答		5	6	1	1	4	4	21
	23.8	28.6	4.8	4.8	19.0	19.0	100.0	
年齢別	10歳代	11	2	0	0	0	0	13
		84.6	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20歳代	37	14	3	2	2	1	59
		62.7	23.7	5.1	3.4	3.4	1.7	100.0
	30歳代	61	23	6	4	4	2	100
		61.0	23.0	6.0	4.0	4.0	2.0	100.0
	40歳代	60	41	6	6	5	1	119
		50.4	34.5	5.0	5.0	4.2	0.8	100.0
	50歳代	49	52	4	8	10	1	124
		39.5	41.9	3.2	6.5	8.1	0.8	100.0
	60歳代	57	50	6	5	16	3	137
		41.6	36.5	4.4	3.6	11.7	2.2	100.0
	70歳以上	70	59	12	1	16	11	169
	41.4	34.9	7.1	0.6	9.5	6.5	100.0	
不明・無回答		5	6	1	1	5	4	22
	22.7	27.3	4.5	4.5	22.7	18.2	100.0	

職業別でみると、「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」と答えた人の合計の割合は、「民間正規雇用」が84.5%と最も高く、次いで「非正規雇用」が81.9%、「自営業」が81.5%となっている。

一方、「よいとは思わない」「どちらかといえばよいとは思わない」と答えた人の合計の割合は、「公務員、教員」が12.5%と最も高くなっている。【表5 - 4 - 2 - 3】

【表5 - 4 - 2 - 3 職業別 外国籍住民との共生】

(上段:人、下段:%)

		よいと思う	いどちらかといえよ	いどちらかといえよ	よいとは思わない	わからない	不明・無回答	合計
市全体		350	247	38	27	58	23	743
		47.1	33.2	5.1	3.6	7.8	3.1	100.0
自営業		40	26	3	3	7	2	81
		49.4	32.1	3.7	3.7	8.6	2.5	100.0
民間正規雇用		103	60	9	13	8	0	193
		53.4	31.1	4.7	6.7	4.1	0.0	100.0
公務員、教員		11	8	2	1	2	0	24
		45.8	33.3	8.3	4.2	8.3	0.0	100.0
非正規雇用		53	51	7	3	9	4	127
		41.7	40.2	5.5	2.4	7.1	3.1	100.0
家事専業、学生、無職		140	97	16	7	32	13	305
		45.9	31.8	5.2	2.3	10.5	4.3	100.0
不明・無回答		3	5	1	0	0	4	13
		23.1	38.5	7.7	0.0	0.0	30.8	100.0

学歴別でみると、「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」と答えた人の合計の割合は、「大学卒」が86.0%と最も高く、次いで「短大卒」が85.1%となっている。

一方、「よいとは思わない」「どちらかといえばよいとは思わない」と答えた人の合計の割合は、「短大卒」が9.7%と最も高くなっている。【表5 - 4 - 2 - 4】

【表5 - 4 - 2 - 4 学歴別 外国籍住民との共生】

(上段:人、下段:%)

		よい と思う	い ど ち ら か と い え ば よ い	い ど ち ら か と い え ば よ い	よ い と は 思 わ な い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		350 47.1	247 33.2	38 5.1	27 3.6	58 7.8	23 3.1	743 100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	39 39.0	33 33.0	3 3.0	4 4.0	14 14.0	7 7.0	100 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	112 42.4	97 36.7	16 6.1	8 3.0	26 9.8	5 1.9	264 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	74 48.1	57 37.0	6 3.9	9 5.8	5 3.2	3 1.9	154 100.0
	4.大学、大学院	117 58.5	55 27.5	10 5.0	6 3.0	9 4.5	3 1.5	200 100.0
	5.その他	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	9 100.0
	不明・無回答	4 25.0	2 12.5	3 18.8	0 0.0	2 12.5	5 31.3	16 100.0

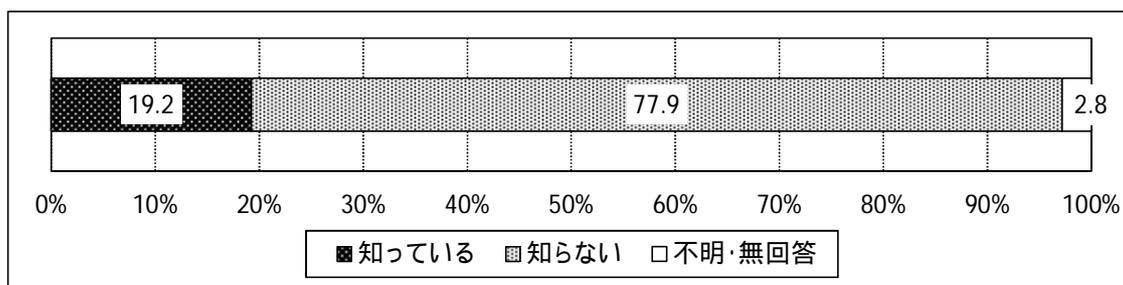
5 - 5 . 各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況

問18 大阪市では、各区役所で人権相談窓口を開設し、適切なアドバイスを行うほか、相談内容に応じた専門相談機関を紹介・取り次ぎなどの方法で相談者を支援しています。あなたは、各区役所における相談窓口をご存知ですか。(は1つ)

【表5 - 5 - 1 各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況】

	(上段:人、下段:%)			
	知っている	知らない	不明・無回答	合計
市全体	143	579	21	743
	19.2	77.9	2.8	100.0

【図5 - 5 各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況】



各区役所に開設している人権相談窓口の認知について尋ねたところ、「知っている」と答えた人の割合は19.2%であるのに対し、「知らない」は77.9%となっている。

性別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、男性24.1%、女性16.2%となっている。

年齢別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、60歳代が33.6%で最も高く、次いで70歳以上が26.0%となっている。【表5 - 5 - 2】

【表5 - 5 - 2 性別・年齢別 各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況】

(上段:人、下段:%)

		知 つ て い る	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		143 19.2	579 77.9	21 2.8	743 100.0
性別	男性	72 24.1	222 74.2	5 1.7	299 100.0
	女性	68 16.2	340 81.1	11 2.6	419 100.0
	その他、回答したくない	1 25.0	3 75.0	0 0.0	4 100.0
	不明・無回答	2 9.5	14 66.7	5 23.8	21 100.0
	不明・無回答	2 15.4	11 84.6	0 0.0	13 100.0
年齢別	10歳代	8 13.6	51 86.4	0 0.0	59 100.0
	20歳代	10 10.0	89 89.0	1 1.0	100 100.0
	30歳代	17 14.3	101 84.9	1 0.8	119 100.0
	40歳代	13 10.5	109 87.9	2 1.6	124 100.0
	50歳代	46 33.6	90 65.7	1 0.7	137 100.0
	60歳代	44 26.0	114 67.5	11 6.5	169 100.0
	70歳以上	3 13.6	14 63.6	5 22.7	22 100.0
	不明・無回答				
	不明・無回答				

職業別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、「公務員、教員」が29.2%で最も高く、次いで「家事専業、学生、無職」が25.2%となっている。【表5 - 5 - 3】

【表5 - 5 - 3 職業別 各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況】

(上段:人、下段:%)

	知 つ て い る	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	143 19.2	579 77.9	21 2.8	743 100.0
自営業	15 18.5	64 79.0	2 2.5	81 100.0
民間正規雇用	26 13.5	167 86.5	0 0.0	193 100.0
公務員、教員	7 29.2	17 70.8	0 0.0	24 100.0
非正規雇用	16 12.6	109 85.8	2 1.6	127 100.0
家事専業、学生、無職	77 25.2	216 70.8	12 3.9	305 100.0
不明・無回答	2 15.4	6 46.2	5 38.5	13 100.0

学歴別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、「高校卒」が21.2%で最も高く、次いで「短大卒」が20.1%となっている。【表5 - 5 - 4】

【表 5 - 5 - 4 学歴別 各区役所に開設している人権相談窓口の認知状況】

(上段:人、下段:%)

		知 っ て い る	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		143	579	21	743
		19.2	77.9	2.8	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	18	76	6	100
		18.0	76.0	6.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	56	202	6	264
		21.2	76.5	2.3	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	31	122	1	154
		20.1	79.2	0.6	100.0
	4.大学、大学院	34	164	2	200
		17.0	82.0	1.0	100.0
	5.その他	1	8	0	9
		11.1	88.9	0.0	100.0
不明・無回答		3	7	6	16
		18.8	43.8	37.5	100.0

5 - 6 . 大阪市人権啓発・相談センターの認知状況と手段

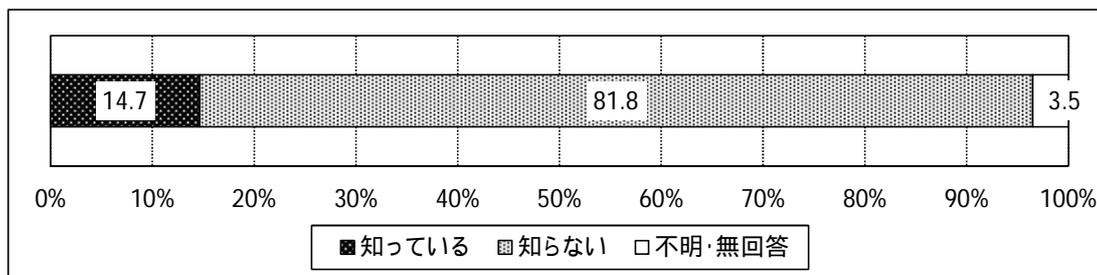
(1) 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知状況

問 1 9 大阪市人権啓発・相談センター（以下、「センター」といいます。）では、気軽に相談できる専門相談員による人権相談窓口を開設しています。あなたは、センターの相談窓口をご存知ですか。（ は1つ）

【表 5 - 6 - 1 - 1 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知状況】

	(上段:人、下段:%)			合計
	知 っ て い る	知 ら な い	無 不 回 明 答 ・	
市全体	109	608	26	743
	14.7	81.8	3.5	100.0

【図 5 - 6 - 1 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知状況】



専門相談員による人権相談窓口の認知について尋ねたところ、「知っている」と答えた人の割合は 14.7%であるのに対し、「知らない」は 81.8%となっている。

性別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、男性 18.7%、女性 12.2%となっている。

年齢別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、60 歳代が 23.4%と最も高く、次いで 70 歳以上が 20.1%となっている。【表 5 - 6 - 1 - 2】

【表5 - 6 - 1 - 2 性別・年齢別 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知状況】

		(上段:人、下段:%)			
		知 っ て い る	知 ら な い	無 不 回 明 答 ・	合 計
市全体		109 14.7	608 81.8	26 3.5	743 100.0
性別	男性	56 18.7	238 79.6	5 1.7	299 100.0
	女性	51 12.2	352 84.0	16 3.8	419 100.0
	その他、回答したくない	1 25.0	3 75.0	0 0.0	4 100.0
	不明・無回答	1 4.8	15 71.4	5 23.8	21 100.0
	不明・無回答	0 0.0	13 100.0	0 0.0	13 100.0
年齢別	10歳代	7 11.9	51 86.4	1 1.7	59 100.0
	20歳代	11 11.0	88 88.0	1 1.0	100 100.0
	30歳代	14 11.8	103 86.6	2 1.7	119 100.0
	40歳代	9 7.3	112 90.3	3 2.4	124 100.0
	50歳代	32 23.4	103 75.2	2 1.5	137 100.0
	60歳代	34 20.1	123 72.8	12 7.1	169 100.0
	70歳以上	2 9.1	15 68.2	5 22.7	22 100.0
	不明・無回答	2 9.1	15 68.2	5 22.7	22 100.0
	不明・無回答	2 9.1	15 68.2	5 22.7	22 100.0

職業別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、「公務員、教員」が33.3%と最も高く、次いで「家事専業、学生、無職」が17.4%となっている。【表5 - 6 - 1 - 3】

【表5 - 6 - 1 - 3 職業別 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知状況】

		(上段:人、下段:%)			
		知 っ て い る	知 ら な い	無 不 回 明 答 ・	合 計
市全体		109 14.7	608 81.8	26 3.5	743 100.0
自営業		11 13.6	68 84.0	2 2.5	81 100.0
民間正規雇用		22 11.4	169 87.6	2 1.0	193 100.0
公務員、教員		8 33.3	16 66.7	0 0.0	24 100.0
非正規雇用		14 11.0	109 85.8	4 3.1	127 100.0
家事専業、学生、無職		53 17.4	239 78.4	13 4.3	305 100.0
不明・無回答		1 7.7	7 53.8	5 38.5	13 100.0

学歴別でみると、「知っている」と答えた人の割合は、「短大卒」が15.6%と最も高く、次いで「高校卒」が15.5%となっている。【表5 - 6 - 1 - 4】

【表 5 - 6 - 1 - 4 学歴別 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知状況】

		(上段:人、下段:%)			
		知 っ て い る	知 ら な い	無 不 回 答 ・	合 計
市全体		109	608	26	743
		14.7	81.8	3.5	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	15	77	8	100
		15.0	77.0	8.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	41	218	5	264
		15.5	82.6	1.9	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	24	125	5	154
		15.6	81.2	3.2	100.0
	4.大学、大学院	27	171	2	200
		13.5	85.5	1.0	100.0
5.その他	0	9	0	9	
	0.0	100.0	0.0	100.0	
不明・無回答	2	8	6	16	
	12.5	50.0	37.5	100.0	

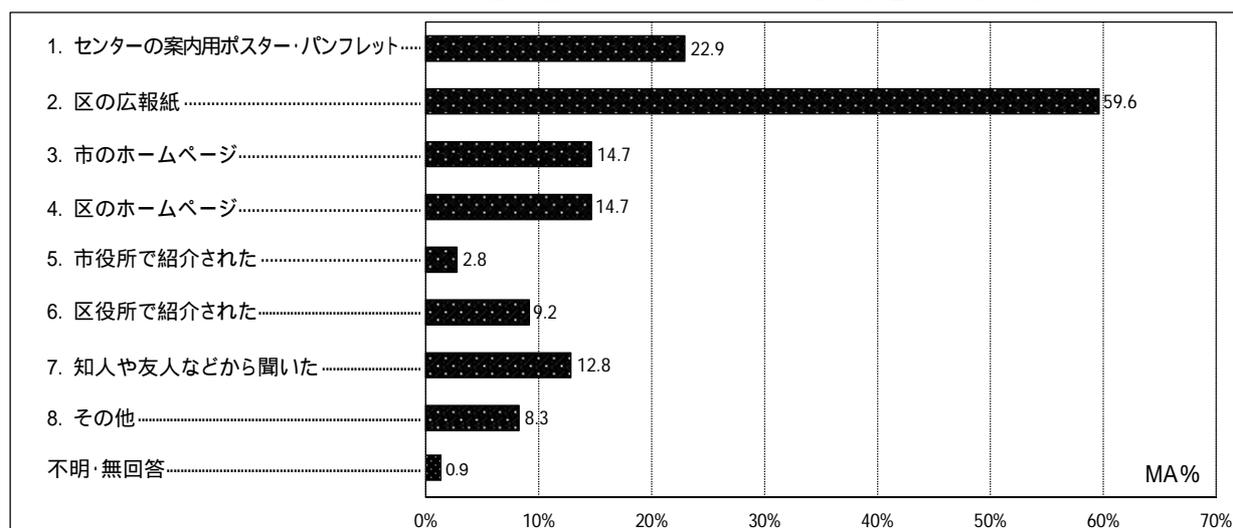
(2) 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知方法

問19-1 何によってセンターをお知りになりましたか。(はいくつでも)【問19で「1」と回答された方対象】

【表5-6-2-1 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知方法】

	(上段:人、下段:MA%)									
	センターの案内用ポスター・パンフレット	区の広報紙	市のホームページ	区のホームページ	市役所で紹介された	区役所で紹介された	知人や友人などから聞いた	その他	不明・無回答	合計
市全体	25 22.9	65 59.6	16 14.7	16 14.7	3 2.8	10 9.2	14 12.8	9 8.3	1 0.9	109 100.0

【図5-6-2 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知方法】



問19で専門相談員による人権相談窓口の認知について「知っている」と回答した人に対して、何によってお知りになったか尋ねたところ、「2.区の広報紙」と答えた人の割合が59.6%と最も高く、次いで「1.センターの案内用ポスター・パンフレット」が22.9%、「3.市のホームページ」と「4.区のホームページ」で、ともに14.7%となっている。

性別で見ると、男性では「2.区の広報紙」が58.9%と最も高く、次いで「1.センターの案内用ポスター・パンフレット」が23.2%、「3.市のホームページ」が17.9%となっている。

女性では「2.区の広報紙」が62.7%と最も高く、次いで「1.センターの案内用ポスター・パンフレット」が21.6%、「4.区のホームページ」が19.6%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20歳代では「1.センターの案内用ポスター・パンフレット」と「2.区の広報紙」で、ともに57.1%となっており、30歳代では「1.センターの案内用ポスター・パンフレット」と「4.区のホームページ」で、ともに27.3%となっている。また、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「2.区の広報紙」であり、数値は各々50.0%、55.6%、71.9%、67.6%となっている。【表5 - 6 - 2 - 2】

【表5 - 6 - 2 - 2 性別・年齢別 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知方法】

		(上段:人, 下段:MA%)									
		センター・パンフレットの案内用ポスター	区の広報紙	市のホームページ	区のホームページ	市役所で紹介された	区役所で紹介された	聞いた人や友人などから	その他	不明・無回答	合計
市全体		25 22.9	65 59.6	16 14.7	16 14.7	3 2.8	10 9.2	14 12.8	9 8.3	1 0.9	109 100.0
性別	男性	13 23.2	33 58.9	10 17.9	6 10.7	1 1.8	5 8.9	8 14.3	6 10.7	1 1.8	56 100.0
	女性	11 21.6	32 62.7	6 11.8	10 19.6	2 3.9	5 9.8	5 9.8	3 5.9	0 0.0	51 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	不明・無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	4 57.1	4 57.1	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	7 100.0
	30歳代	3 27.3	2 18.2	1 9.1	3 27.3	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	11 100.0
	40歳代	3 21.4	7 50.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	14 100.0
	50歳代	1 11.1	5 55.6	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	9 100.0
	60歳代	5 15.6	23 71.9	5 15.6	3 9.4	1 3.1	4 12.5	2 6.3	2 6.3	0 0.0	32 100.0
	70歳以上	8 23.5	23 67.6	3 8.8	7 20.6	2 5.9	5 14.7	6 17.6	4 11.8	1 2.9	34 100.0
	不明・無回答	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべてで「2.区の広報紙」であり、「自営業」が36.4%、「民間正規雇用」が50.0%、「公務員、教員」が37.5%、「非正規雇用」が71.4%、「家事専業、学生、無職」が67.9%となっている。【表5 - 6 - 2 - 3】

【表5 - 6 - 2 - 3 職業別 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知方法】

(上段:人、下段:MA%)

	センター・パンの案内用ポス	区の広報紙	市のホームページ	区のホームページ	市役所で紹介された	区役所で紹介された	聞いた人や友人などから	その他	不明・無回答	合計
市全体	25 22.9	65 59.6	16 14.7	16 14.7	3 2.8	10 9.2	14 12.8	9 8.3	1 0.9	109 100.0
自営業	2 18.2	4 36.4	2 18.2	2 18.2	0 0.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	0 0.0	11 100.0
民間正規雇用	6 27.3	11 50.0	5 22.7	1 4.5	0 0.0	0 0.0	2 9.1	1 4.5	0 0.0	22 100.0
公務員、教員	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	8 100.0
非正規雇用	3 21.4	10 71.4	1 7.1	4 28.6	0 0.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	14 100.0
家事専業、学生、無職	11 20.8	36 67.9	6 11.3	9 17.0	3 5.7	6 11.3	6 11.3	5 9.4	1 1.9	53 100.0
不明・無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「2.区の広報紙」であり、「中学卒」が53.3%、「高校卒」が68.3%、「短大卒」が54.2%、「大学卒」が51.9%となっている。

【表5 - 6 - 2 - 4】

【表5 - 6 - 2 - 4 学歴別 大阪市人権啓発・相談センターの人権相談窓口の認知方法】

(上段:人、下段:MA%)

	センター・パンの案内用ポス	区の広報紙	市のホームページ	区のホームページ	市役所で紹介された	区役所で紹介された	聞いた人や友人などから	その他	不明・無回答	合計
市全体	25 22.9	65 59.6	16 14.7	16 14.7	3 2.8	10 9.2	14 12.8	9 8.3	1 0.9	109 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4 26.7	8 53.3	2 13.3	5 33.3	2 13.3	3 20.0	5 33.3	0 0.0	15 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	10 24.4	28 68.3	5 12.2	4 9.8	1 2.4	4 9.8	3 7.3	4 9.8	41 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4 16.7	13 54.2	5 20.8	7 29.2	0 0.0	2 8.3	1 4.2	3 12.5	24 100.0
	4.大学、大学院	6 22.2	14 51.9	3 11.1	0 0.0	0 0.0	1 3.7	5 18.5	2 7.4	27 100.0
	5.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

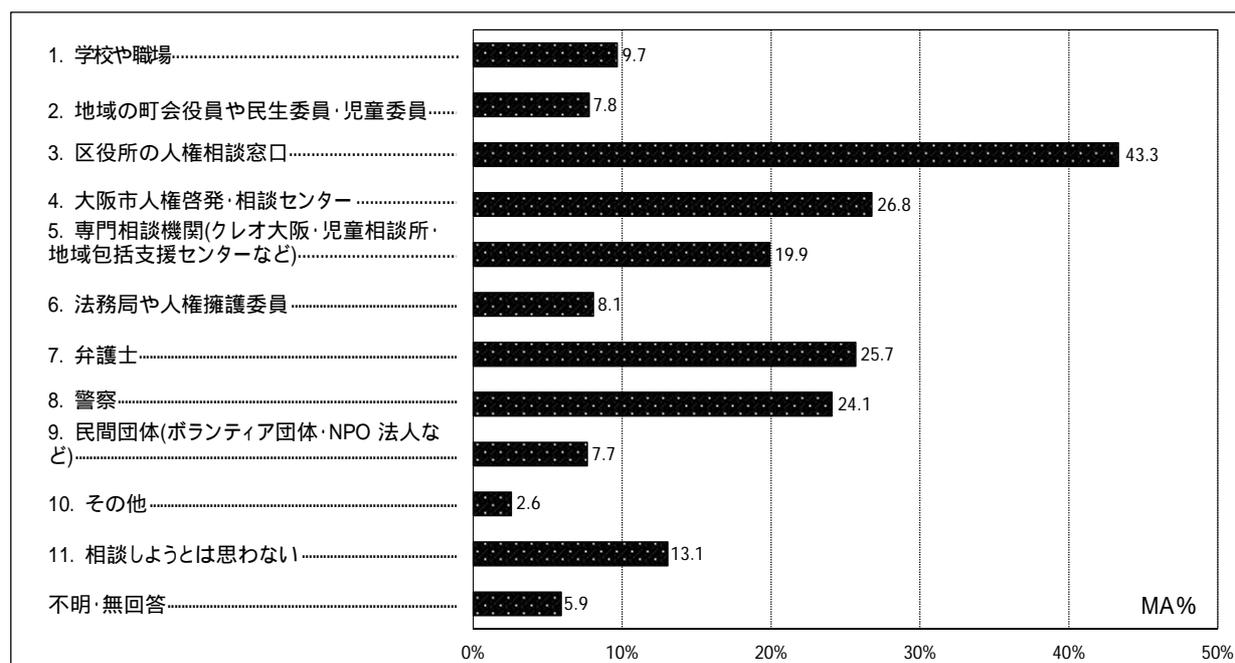
5 - 7 . 人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関

問 2 0 あなたは、人権侵害を受けた場合、または受けたと思った場合、家族・親せきや友人以外では、具体的にどちらへ相談しようと思われませんか。(はいいくつでも)

【表 5 - 7 - 1 人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関】

	学校や職場	地域の町会役員や民生委員・児童委員	区役所の人権相談窓口	大阪市人権啓発・相談センター	専門相談機関(クレオ大阪・児童相談所・地域包括支援センターなど)	法務局や人権擁護委員	弁護士	警察	民間団体(NPO 法人など)	その他	(上段:人, 下段:MA%)		合計
											相談しようとは思わない	不明・無回答	
市全体	72	58	322	199	148	60	191	179	57	19	97	44	743
	9.7	7.8	43.3	26.8	19.9	8.1	25.7	24.1	7.7	2.6	13.1	5.9	100.0

【図 5 - 7 人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関】



人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関について尋ねたところ、「3.区役所の人権相談窓口」と答えた人の割合が43.3%と最も高く、次いで「4.大阪市人権啓発・相談センター」が26.8%、「7.弁護士」が25.7%となっている。

性別で見ると、男性では「3.区役所の人権相談窓口」が40.8%と最も高く、次いで「7.弁護士」が32.4%、「4.大阪市人権啓発・相談センター」が27.1%となっている。

女性では「3.区役所の人権相談窓口」が46.3%と最も高く、次いで「4.大阪市人権啓発・相談センター」が27.2%、「8.警察」が24.3%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代では「1.学校や職場」で38.5%、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「3.区役所の人権相談窓口」であり、数値は各々32.2%、31.0%、39.5%、43.5%、56.2%、49.7%となっている。【表5 - 7 - 2】

【表5 - 7 - 2 性別・年齢別 人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関】

(上段:人, 下段:MA%)

		学校や職場	地域の町会役員や民生委員・児童委員	区役所の人権相談窓口	大阪市人権啓発・相談センター	大阪・児童相談所(ウレオ大)	専門相談機関(ウレオ大)	法務局や人権擁護委員	弁護士	警察	民間団体(NPO法人など)	その他	相談しようとは思わない	不明・無回答	合計
市全体		72 9.7	58 7.8	322 43.3	199 26.8	148 19.9	60 8.1	191 25.7	179 24.1	57 7.7	19 2.6	97 13.1	44 5.9	743 100.0	
性別	男性	28 9.4	26 8.7	122 40.8	81 27.1	50 16.7	31 10.4	97 32.4	73 24.4	25 8.4	9 3.0	33 11.0	15 5.0	299 100.0	
	女性	44 10.5	31 7.4	194 46.3	114 27.2	95 22.7	28 6.7	91 21.7	102 24.3	29 6.9	9 2.1	60 14.3	23 5.5	419 100.0	
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 4.8	6 28.6	3 14.3	2 9.5	1 4.8	1 4.8	1 19.0	4 14.3	3 4.8	1 9.5	2 28.6	6 100.0	21 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 9.1	4 27.3	1 13.6	2 9.1	2 4.5	1 4.5	2 18.2	2 13.6	1 4.5	3 13.6	1 13.6	3 27.3	22 100.0
年齢別	10歳代	5 38.5	0 0.0	4 30.8	1 7.7	2 15.4	2 7.7	1 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	0 0.0	3 23.1	0 0.0	13 100.0
	20歳代	13 22.0	1 1.7	19 32.2	17 28.8	9 15.3	1 1.7	15 25.4	16 27.1	5 8.5	4 6.8	10 16.9	2 3.4	59 100.0	
	30歳代	14 14.0	1 1.0	31 31.0	24 24.0	25 25.0	7 7.0	26 26.0	13 13.0	9 9.0	0 0.0	17 17.0	4 4.0	100 100.0	
	40歳代	20 16.8	7 5.9	47 39.5	35 29.4	31 26.1	7 5.9	35 29.4	22 18.5	10 8.4	2 1.7	19 16.0	6 5.0	119 100.0	
	50歳代	11 8.9	6 4.8	54 43.5	37 29.8	25 20.2	8 6.5	46 37.1	35 28.2	5 4.0	5 4.0	13 10.5	2 1.6	124 100.0	
	60歳代	6 4.4	19 13.9	77 56.2	43 31.4	29 21.2	18 13.1	40 29.2	37 27.0	17 12.4	1 0.7	13 9.5	9 6.6	137 100.0	
	70歳以上	3 1.8	22 13.0	84 49.7	39 23.1	25 14.8	17 10.1	26 15.4	50 29.6	7 4.1	6 3.6	19 11.2	15 8.9	169 100.0	
	不明・無回答	0 0.0	2 9.1	6 27.3	3 13.6	2 9.1	2 4.5	1 4.5	1 18.2	4 13.6	3 4.5	1 13.6	3 27.3	6 100.0	

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では「3.区役所の人権相談窓口」であり、数値は各々39.5%、37.8%、48.8%、47.5%となっており、「公務員、教員」では「7.弁護士」で37.5%となっている。【表5 - 7 - 3】

【表5-7-3 職業別 人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関】

	(上段:人, 下段:MA%)												
	学校や職場	地域の町会役員や民生委員・児童委員	区役所の人権相談窓口	大阪市人権啓発・相談センター	大阪・児童相談所・地域包括支援センターなど	専門相談機関(ウレオ大)	法務局や人権擁護委員	弁護士	警察	民間団体(NPO法人など)	その他	相談しようとは思わない	不明・無回答
市全体	72 9.7	58 7.8	322 43.3	199 26.8	148 19.9	60 8.1	191 25.7	179 24.1	57 7.7	19 2.6	97 13.1	44 5.9	743 100.0
自営業	5 6.2	10 12.3	32 39.5	17 21.0	17 21.0	7 8.6	25 30.9	25 30.9	8 9.9	2 2.5	10 12.3	5 6.2	81 100.0
民間正規雇用	32 16.6	6 3.1	73 37.8	46 23.8	38 19.7	17 8.8	69 35.8	40 20.7	15 7.8	3 1.6	23 11.9	5 2.6	193 100.0
公務員、教員	6 25.0	1 4.2	6 25.0	5 20.8	4 16.7	3 12.5	9 37.5	7 29.2	1 4.2	3 12.5	1 4.2	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	11 8.7	9 7.1	62 48.8	45 35.4	31 24.4	9 7.1	26 20.5	26 20.5	10 7.9	0 0.0	14 11.0	5 3.9	127 100.0
家事専業、学生、無職	18 5.9	31 10.2	145 47.5	83 27.2	56 18.4	24 7.9	59 19.3	78 25.6	22 7.2	11 3.6	49 16.1	22 7.2	305 100.0
不明・無回答	0 0.0	1 7.7	4 30.8	3 23.1	2 15.4	0 0.0	3 23.1	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0	5 38.5	13 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「3.区役所の人権相談窓口」であり、「中学卒」が44.0%、「高校卒」が52.3%、「短大卒」が41.6%、「大学卒」が36.0%となっている。【表5-7-4】

【表5-7-4 学歴別 人権侵害を受けた時の家族など以外の相談機関】

	(上段:人, 下段:MA%)													
	学校や職場	地域の町会役員や民生委員・児童委員	区役所の人権相談窓口	大阪市人権啓発・相談センター	大阪・児童相談所・地域包括支援センターなど	専門相談機関(ウレオ大)	法務局や人権擁護委員	弁護士	警察	民間団体(NPO法人など)	その他	相談しようとは思わない	不明・無回答	合計
市全体	72 9.7	58 7.8	322 43.3	199 26.8	148 19.9	60 8.1	191 25.7	179 24.1	57 7.7	19 2.6	97 13.1	44 5.9	743 100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2	14	44	20	13	5	9	26	10	2	17	10	100
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	20	14.0	44.0	20.0	13.0	5.0	9.0	26.0	10.0	2.0	17.0	10.0	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	25	26	138	69	49	24	65	63	16	7	37	12	264
	4.大学、大学院	9.5	9.8	52.3	26.1	18.6	9.1	24.6	23.9	6.1	2.7	14.0	4.5	100.0
	5.その他	24	11	64	52	34	10	40	32	8	2	18	7	154
	不明・無回答	15.6	7.1	41.6	33.8	22.1	6.5	26.0	20.8	5.2	1.3	11.7	4.5	100.0
	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	100.0
0	1	2	3	5	0	4	1	2	0	0	1	6	16	
0.0	6.3	12.5	18.8	31.3	0.0	25.0	6.3	12.5	0.0	6.3	37.5	100.0		

5 - 8 . 人権問題や今後の人権教育・啓発についての意見・要望

人権問題や今後の人権教育・啓発について、大阪市に対して意見・要望を自由に記入してもらった〔問 33〕ところ、回答者総数 743 人のうち 158 人（21.3%）から総数 194 件の意見・要望が寄せられた。

記述内容は以下のとおり

教育・啓発普及などについて

わざわざ教える必要はない	7 件
義務教育で学べるようにしてほしい	6 件
人権問題を知る機会がない、実例を知りたい	5 件
人権教育は必要	5 件
行政や公共団体が啓発すべき	4 件
すばらしい人材、人間性を育む教師を育てることが必要だ	3 件
親がこどもに教えればよい	2 件
被差別者との交流が必要だ	2 件
相談窓口が役所にあることを知らなかった	2 件
差別意識が低くなってきたものは、教えることは逆効果	1 件
人権問題は正しい知識の普及で、必ず改善すると思う	1 件

差別に対する考え方、要望など

差別や逆差別、不公平のない社会をつくって欲しい。よりよい社会をつくって欲しい	13 件
えせ同和行為、えせ人権行為をなくして欲しい。助長させないようにすべき	13 件
被差別者にも問題がある	7 件
「差別」「人権」と言いすぎる、被害者意識をあおる	6 件
簡単に解決できない。時間がかかる	6 件
差別はなくすべきだ	3 件
不当な扱いを受けている方は救済して欲しい	2 件
生活が豊かになれば自然に差別はなくなる	1 件
世代が変わるたびに人権意識が希薄になっている	1 件
差別する人が差別しない努力をすべき	1 件
自分も自然と差別している面があり、今後も変わらないと思う	1 件
市と市民が一体になって取り組まなければならない	1 件
被害者にならないとわからない	1 件

さまざまな人権問題について

同和問題に関する人権	22 件
こどもの人権	7 件
女性の人権	5 件
高齢者の人権	3 件
ホームレスの問題	3 件
在日朝鮮人・韓国人は優遇されている	2 件
ヘイトスピーチを実際に聞いて嫌な思いをした。法律でなくすべき	2 件
インターネットによる人権侵害を見た。その教育などをして欲しい	2 件
性的指向が少数派の人々の人権	2 件
HIV 感染者やハンセン病回復者などの人権	1 件
刑を終えて出所した人の人権は守られるべき	1 件
個人情報の流出や漏えいの問題	1 件
外国籍住民の人権	1 件
その他の人権問題	2 件

その他

行政全般に関する意見	35 件
その他、わからない	11 件